

第4章 人口減少要因の仮説とアンケート調査

人口減少要因の仮説とアンケート調査

人口減少要因の仮説

- 若者が東京圏へ流出するのは、「希望する仕事や大学がない」ためではないか？
- 若者が近隣市町（藤枝市や焼津市など）へ流出するのは、「地価・家賃が高い」ためではないか？
- 婚姻率が低いのは、「全国と同様に静岡市においても若者の結婚・出産に関する意識変化がある」「理想を叶えられない」ためではないか？
- 出生率が低いのは、「賃金や休暇制度等の待遇の良い仕事が見つからず、経済的余裕や時間がない」ためではないか？

アンケート調査の実施

上記仮説の検証のため、令和6年4、5月に以下のアンケート調査を実施した。

- 静岡市版出生動向基本調査
- 転出者・転入者・区間異動者向けアンケート調査
- 静岡市雇用及び就業環境に係る実態・ニーズ調査

アンケート調査 概要

(1)	静岡市版出生動向基本調査
目的	若者や女性の結婚と出産にかかる意識や行動の変化などを調査・分析し、人口減少の要因の根底にある課題を解決するための政策・施策立案の根拠とする。 ※国立社会保障・人口問題研究所が実施する「出生動向基本調査」において、18歳以上55歳未満の市内在住の既婚女性及び独身男女の方を対象としているため、対象者の性別・年齢等の条件を揃えて実施
対象	18歳以上55歳未満の市内在住の独身男女 3,000人及び既婚女性 3,000人
実施期間	令和6年4月26日(金)から5月17日(金)まで
主要質問項目	【独身男女】結婚相手を決める条件・結婚の時期(相手の年齢)・独身でいる理由・理想のライフコースと予想するライフコース 等 【既婚女性】結婚時の年齢・理想の子ども数・予定の子ども数・理想と現実の子ども数の差の理由・パートナーに求めるもの 等
(2)	転出者・転入者・区間異動者向けアンケート調査
目的	転出入・区間異動の状況、きっかけや理由を調査し、静岡市における女性流出、東京圏・近隣市町への転出要因を深掘する。
対象	18歳から40歳未満の市外転出者 2,000人・市内転入者 2,000人・区間異動者 1,000人
実施期間	令和6年4月26日(金)から5月17日(金)まで
主要質問項目	転出入の理由・転出入前の居住年数・静岡市の印象 等
(3)	静岡市雇用及び就業環境に係る実態・ニーズ調査
目的	静岡市内における雇用、就業環境に係る実態やニーズを調査・把握する。
対象	市内を拠点に事業活動を行い且つ同拠点に採用拠点を持つ企業2,500社及び属する従業員5,000人(各社から2人程度)
実施期間	令和6年5月17日(金)から5月31日(金)まで
主要質問項目	職種別人手不足感・雇用維持に必要な条件(必要な勤務制度他)等

静岡市版出生動向基本調査(独身者調査)

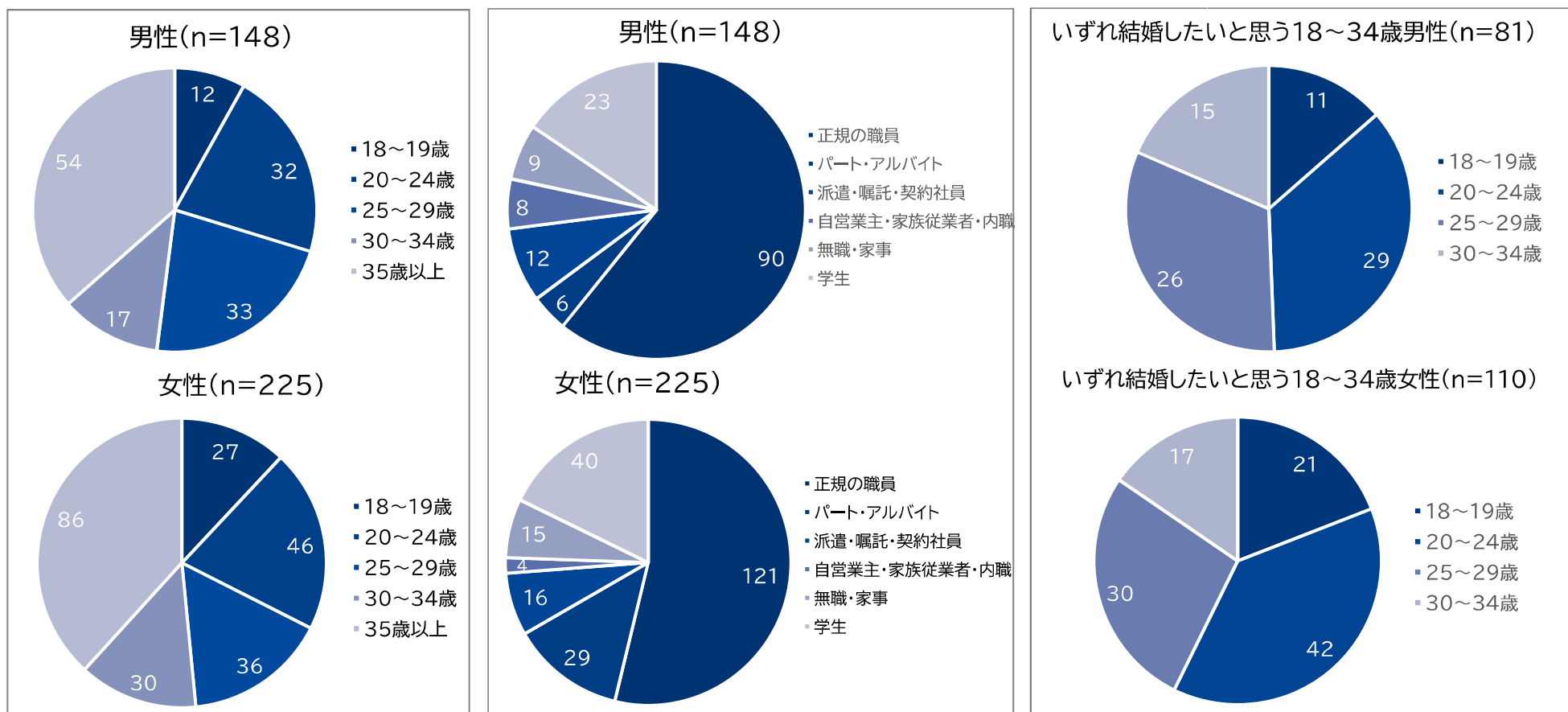


静岡市版出生動向基本調査(独身者調査)の回答状況・回答者属性

回答状況

- 調査対象者: 18歳以上55歳未満(令和6年4月1日時点)の独身男女3,000人
- 全体回答数: 374人
- 有効回答数: 373人(有効回答率: 12.4%) ※年齢など調査対象外の1票を集計対象から除外。

回答者属性



調査項目

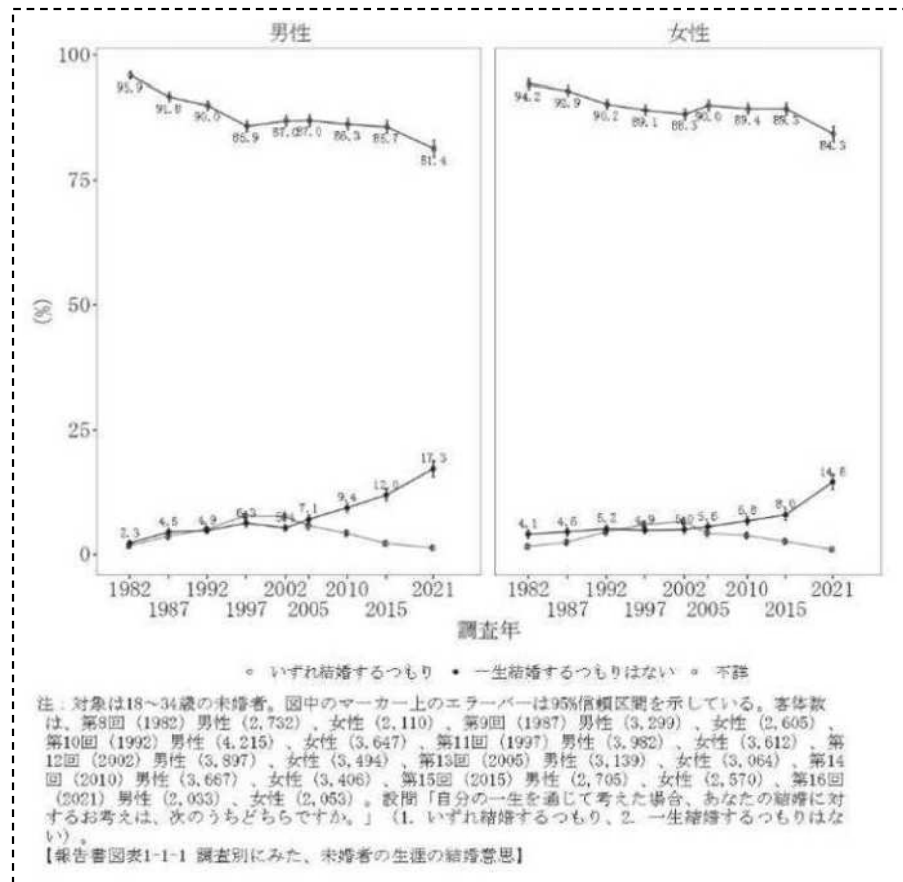
問	質問内容
1	(1) 出生年月
	(2) 性別
	(3) 居住する区
	(4) 居住する町名
2	(1) 在学・卒業の別
	(2) 在学中または最後に卒業した学校
	(3) 最後に学校を卒業したときの年齢
3	(1) 最後に学校を卒業した直後の勤務先の雇用形態(正規・非正規等)
	(2) 最後に学校を卒業した直後の勤務先の職種
	(3) 最後に学校を卒業した直後の勤務先の従業員数
	(4) 現在の勤務先の雇用形態
	(5) 現在の勤務先の職種
	(6) 現在の勤務先の従業員数
4	(1) 勤務日の1日当たりの労働時間
	(2) 1週間の平均的な労働日数
	(3) 現在の仕事の勤続年数
	(4) 今年の3月の収入
	(5) 昨年の年収
5	(1) 両親の出生年
	(2) 両親の年齢
	(3) 両親の最後に卒業した学校
6	兄弟姉妹の数
7	両親との同別居の状況
8	結婚することの利点の有無
9	具体的な利点(2つ)
10	独身でいることの利点の有無
11	具体的な利点(2つ)
12	(1) 【女性の方へ】理想とするライフコース
	(2) 【女性の方へ】予想されるライフコース
13	【男性の方へ】パートナーに期待する人生のタイプ
14	結婚、男女関係、家庭、子ども等に関する考え方
15	身近な状況についての考え方
16	これまでの結婚の有無
17	(1) これまでに産んだ子どもの数
	(2) 子どもの出生年月
	(3) 子どもとの同居の有無

問	質問内容
18	(1) 異性との交際の状況
	(2) 異性との交際の希望
	(3) (最も親しい)交際相手との結婚の希望
	(4) 結婚予定年月
19	(1) これまでの恋人としての交際経験の有無
	(2) 交際相手の性別
20	(1) 最も親しい交際相手と知り合った年月
	(2) 知り合った切っ掛け
	(3) 交際相手の年齢
	(4) 交際相手の学歴
	(5) 交際相手の現在の勤務状況
21	(1) 希望する子どもの数
22	(1) 男女の組み合わせの希望
	(2) 最初の子どもの持ちたい年齢
	(3) 子どもを持ちたい理由
	(4) 子どもを持ちたい理由の中で最も重要な理由
23	一生を通じた結婚に対する考え
24	(1) 【いずれ結婚するつもりのある方へ】一生を通じた結婚に対する考え(その2)
	(2) 1年以内の結婚に関する考え
	(3) 結婚希望年齢(自分、相手)
	(4) 結婚相手に求める条件
	(5) 1年以内に結婚することに関する障害の有無及び具体的な障害内容(2つ)
	(6) 現在独身でいる理由(3つ)
25	(1) 【一生結婚するつもりはない方へ】いずれ結婚するつもりと思ったことの有無
	(2) 結婚に対する考えが変わる可能性
	(3) 「いずれ結婚するつもり」に変わる理由(3つ)
26	(1) 最初の結婚生活開始年月
	(2) 同居をやめた年月
	(3) 経験した結婚回数
	(4) 最初の結婚相手と知り合った年月
	(5) 最初の結婚相手と知り合ったきっかけ
	(6) 最初の結婚相手の結婚時の年齢
	(7) 最初の結婚相手の学歴
27	自由意見

未婚者の生涯の結婚意思

- 「いずれ結婚するつもり」と考えている18～34歳の未婚者の割合は、男性86.2%（【全国】81.4%）、女性79.1%（【全国】84.3%）で、静岡市は全国に比べて男性が高い一方で、女性が低かった。
- 「一生結婚するつもりはない」と考えている18～34歳の未婚者の割合は、男性13.8%（【全国】17.3%）、女性20.9%（【全国】14.6%）で、静岡市は全国に比べて男性が低い一方で、女性が高かった。
- 全国の経年変化は、「いずれ結婚するつもり」は、1997年調査以降、比較的安定的に推移していたが、直近調査では減少している。また、「一生結婚するつもりはない」は増加が加速している。

性別	静岡市(2024年度)		全国(2021年度)	
	いずれ結婚するつもり	一生結婚するつもりはない	いずれ結婚するつもり	一生結婚するつもりはない
男性	86.2%	13.8%	81.4%	17.3%
女性	79.1%	20.9%	84.3%	14.6%

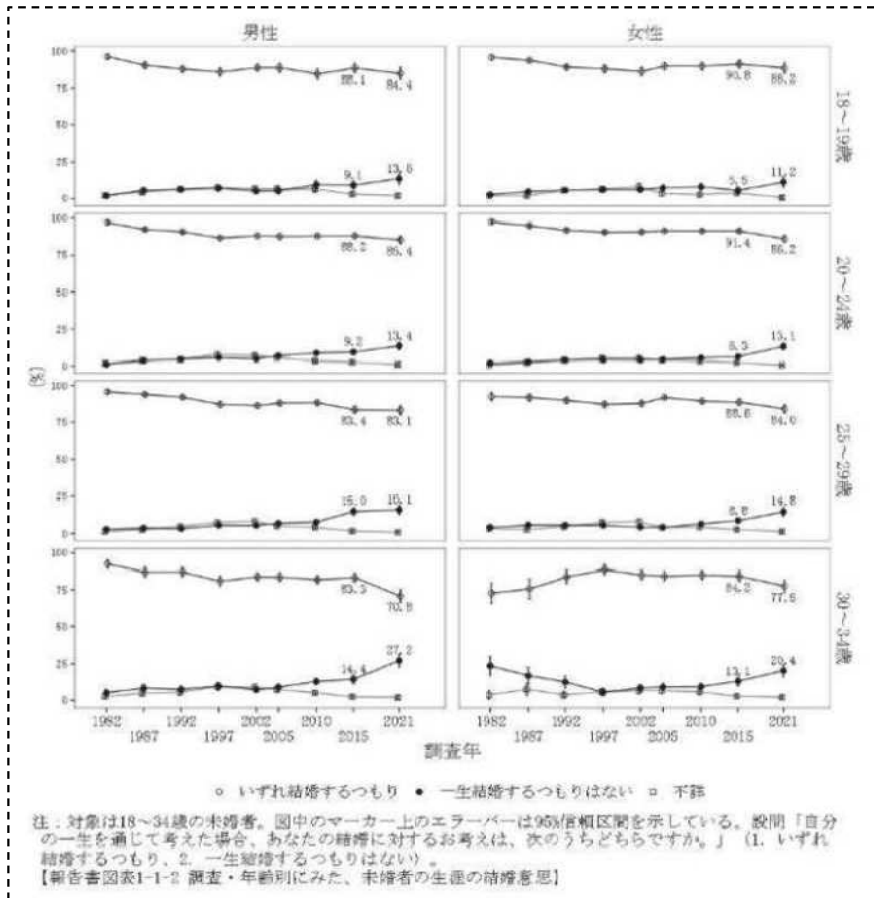


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産―第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

未婚者の生涯の結婚意思(年齢別)

- 18～34歳の年齢別にみた未婚者の生涯の結婚意思で、静岡市と全国で最も差が大きかった男女別の年齢は、30～34歳の男性で「いずれ結婚するつもり」88.2%（【全国】70.8%）、30～34歳の女性で「一生結婚するつもりはない」43.3%（【全国】20.4%）だった。
- 全国の経年変化は、直近調査で性別や年齢にかかわらず減少がみられる。

年齢	性別	静岡市(2024年度)		全国(2021年度)	
		いずれ結婚するつもり	一生結婚するつもりはない	いずれ結婚するつもり	一生結婚するつもりはない
18～19歳	男性	91.7%	8.3%	84.4%	13.6%
	女性	77.8%	22.2%	88.2%	11.2%
20～24歳	男性	90.6%	9.4%	85.4%	13.4%
	女性	91.3%	8.7%	86.2%	13.1%
25～29歳	男性	78.8%	21.2%	83.1%	16.1%
	女性	83.3%	16.7%	84.0%	14.8%
30～34歳	男性	88.2%	11.8%	70.8%	27.2%
	女性	56.7%	43.3%	77.5%	20.4%

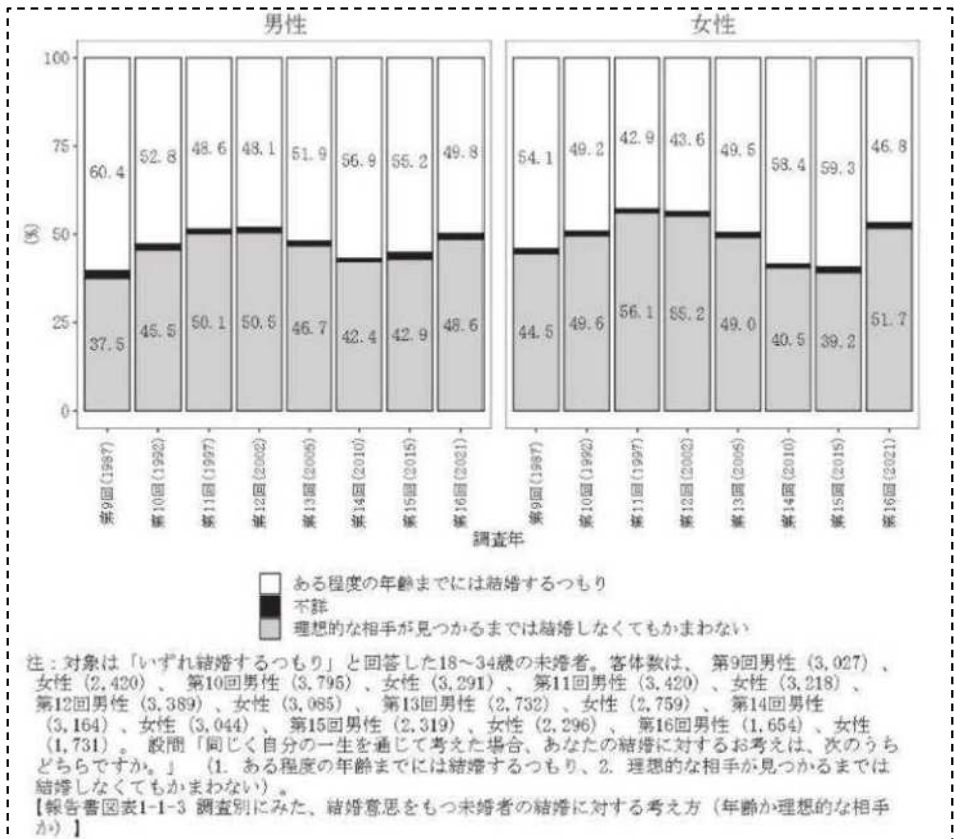


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産―第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

結婚意思をもつ未婚者の結婚に対する考え方(年齢か理想的な相手か)

- 「ある程度の年齢までには結婚するつもり」と考えている18～34歳の未婚者の割合は、男性63.0%([全国]49.8%)、女性45.5%([全国]46.8%)と、静岡市は全国に比べて、男性が高い一方で、女性が同程度だった。
- 「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」と考えている18～34歳の未婚者の割合は、男性37.0%([全国]48.6%)、女性54.5%([全国]51.7%)と、静岡市は全国に比べて男性が低い一方で、女性が同程度だった。

性別	静岡市(2024年度)		全国(2021年度)	
	ある程度の年齢までには結婚するつもり	理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない	ある程度の年齢までには結婚するつもり	理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない
男性	63.0%	37.0%	49.8%	48.6%
女性	45.5%	54.5%	46.8%	51.7%

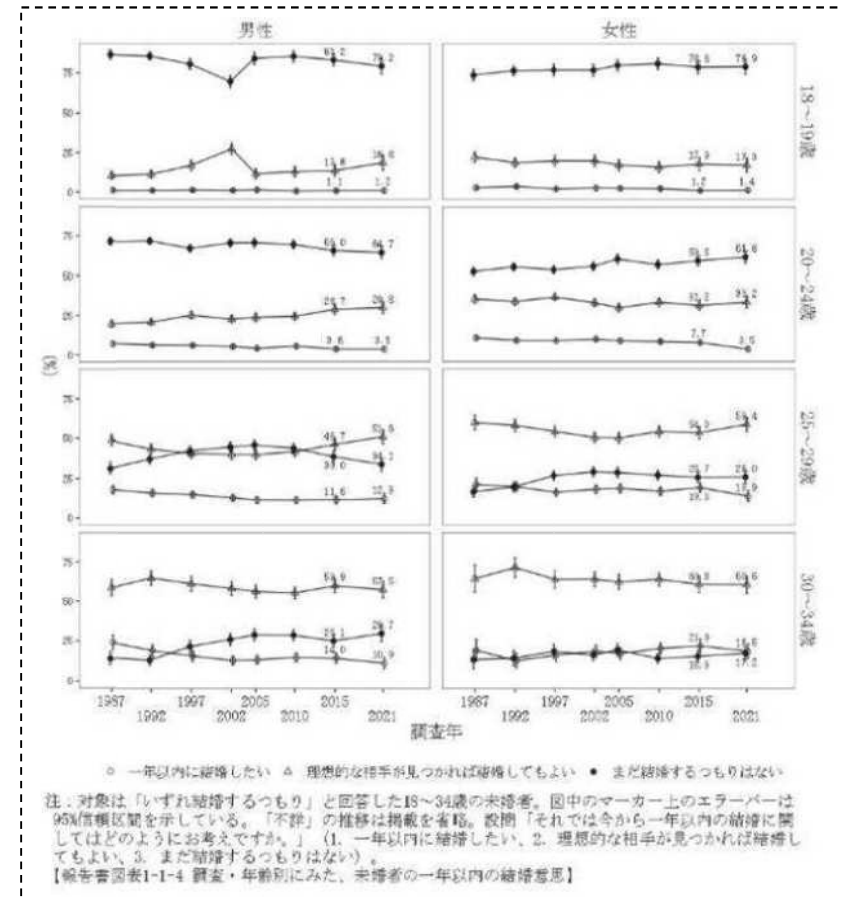


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産―第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

未婚者の1年以内の結婚意思

- 18～34歳の年齢別にみた未婚者の1年以内の結婚意思で、静岡市と全国で最も差が大きかった男女別の年齢は、25～29歳の男性で「まだ結婚するつもりはない」11.5%（【全国】34.1%）、25～29歳の女性で「1年以内に結婚したい」30.0%（【全国】13.9%）だった。

年齢	性別	静岡市(2024年度)			全国(2021年度)		
		1年以内に結婚したい	理想的な相手が見つければ結婚してもよい	まだ結婚するつもりはない	1年以内に結婚したい	理想的な相手が見つければ結婚してもよい	まだ結婚するつもりはない
18～19歳	男性	0.0%	18.2%	81.8%	1.2%	18.8%	79.2%
	女性	4.8%	14.3%	81.0%	1.4%	17.3%	78.9%
20～24歳	男性	3.4%	41.4%	55.2%	3.5%	29.8%	64.7%
	女性	14.3%	33.3%	52.4%	3.5%	33.2%	61.8%
25～29歳	男性	26.9%	61.5%	11.5%	12.3%	51.6%	34.1%
	女性	30.0%	50.0%	20.0%	13.9%	59.4%	26.0%
30～34歳	男性	20.0%	66.7%	13.3%	10.9%	57.5%	29.7%
	女性	23.5%	58.8%	17.6%	18.5%	60.6%	17.2%

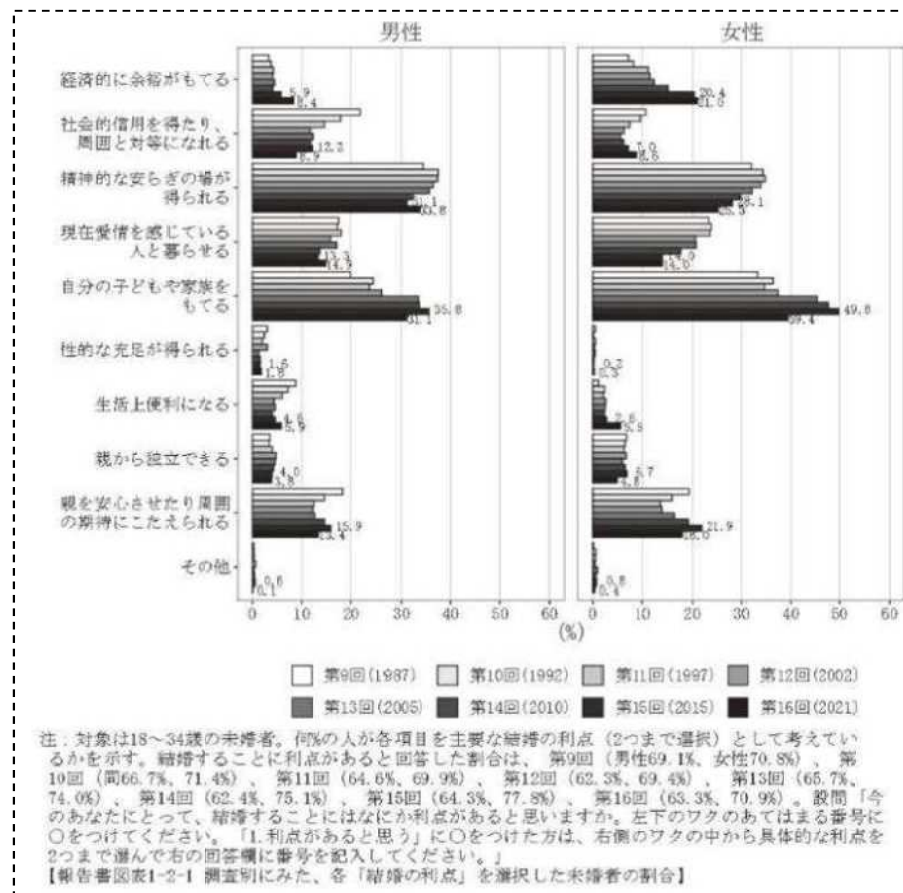


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産—第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

未婚者が考える結婚の利点

- 「結婚に利点がある」と考えている18～34歳の未婚者のうち、「自分の子どもや家族をもてる」を利点に挙げた男性は35.5%（【全国】31.1%）、女性30.2%（【全国】39.4%）で、静岡市は全国に比べて男性が高く、女性が低かった。
- 全国の経年変化は、1987年調査からほぼ一貫して増えていた「自分の子どもや家族をもてる」が減少に転じた。

性別	結婚の利点	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
男性	経済的に余裕がもてる	7.5%	8.4%
	社会的信用を得たり、周囲と対等になれる	12.9%	8.9%
	精神的な安らぎの場が得られる	38.7%	33.8%
	現在愛情を感じている人と暮らせる	20.4%	14.9%
	自分の子どもや家族をもてる	35.5%	31.1%
	性的な充足が得られる	3.2%	1.8%
	生活上便利になる	6.5%	5.9%
	親から独立できる	4.3%	3.8%
	親を安心させたり周囲の期待にこたえられる	8.6%	13.4%
	その他	3.2%	0.1%
女性	経済的に余裕がもてる	15.8%	21.0%
	社会的信用を得たり、周囲と対等になれる	8.6%	8.6%
	精神的な安らぎの場が得られる	35.3%	25.3%
	現在愛情を感じている人と暮らせる	15.1%	14.0%
	自分の子どもや家族をもてる	30.2%	39.4%
	性的な充足が得られる	0.7%	0.3%
	生活上便利になる	5.0%	5.5%
	親から独立できる	2.2%	4.8%
	親を安心させたり周囲の期待にこたえられる	11.5%	18.0%
	その他	0.7%	0.4%

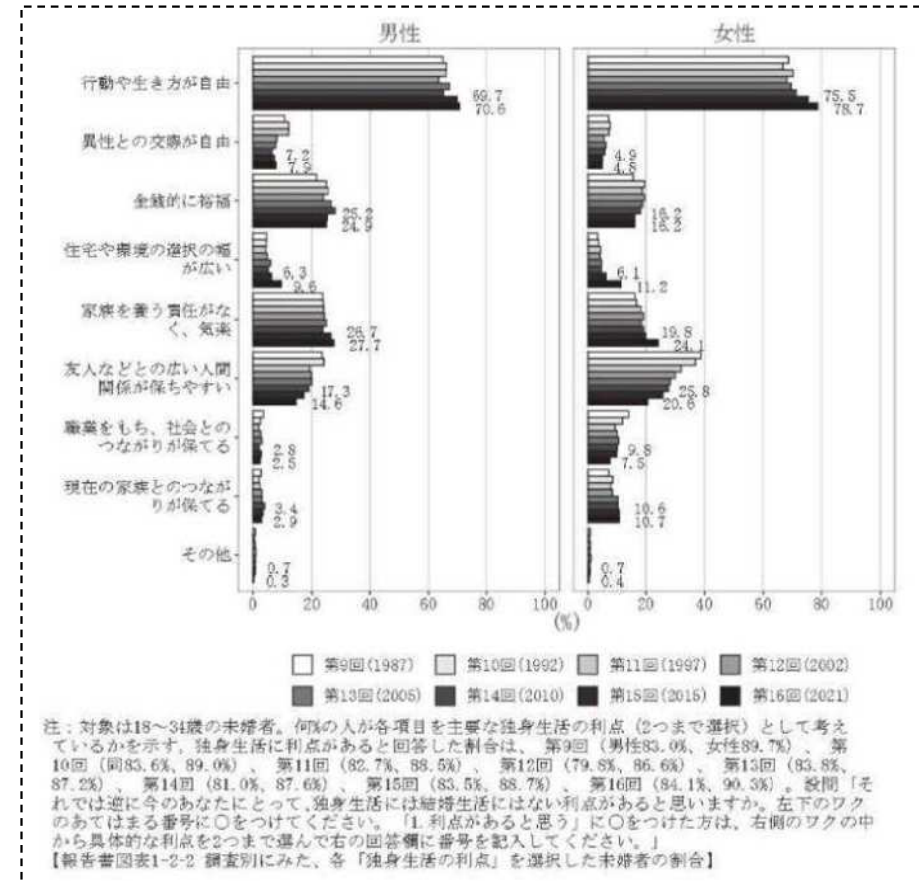


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産—第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

未婚者が考える独身生活の利点

- 「独身生活に利点がある」と考えている18～34歳の未婚者のうち、「行動や生き方が自由」を利点に挙げた男性は58.0%（【全国】70.6%）、女性84.0%（【全国】78.7%）で、静岡市は全国に比べて男性が低く、女性が高かった。
- 全国の経年変化は、1987年調査以来、利点として挙げる人が最多である「行動や生き方が自由」が微増している。

性別	独身生活の利点	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
男性	行動や生き方が自由	58.0%	70.6%
	異性との交際が自由	6.7%	7.9%
	金銭的に裕福	26.1%	24.9%
	住宅や環境の選択の幅が広い	6.7%	9.6%
	家族を養う責任がなく、気楽	31.1%	27.7%
	友人などとの広い人間関係が保ちやすい	7.6%	14.6%
	職業をもち、社会とのつながりが保てる	1.7%	2.5%
	現在の家族とのつながりが保てる	3.4%	2.9%
	その他	0.0%	0.3%
女性	行動や生き方が自由	84.0%	78.7%
	異性との交際が自由	1.7%	4.8%
	金銭的に裕福	21.0%	16.2%
	住宅や環境の選択の幅が広い	15.1%	11.2%
	家族を養う責任がなく、気楽	29.4%	24.1%
	友人などとの広い人間関係が保ちやすい	14.3%	20.6%
	職業をもち、社会とのつながりが保てる	6.7%	7.5%
	現在の家族とのつながりが保てる	17.6%	10.7%
	その他	4.2%	0.4%

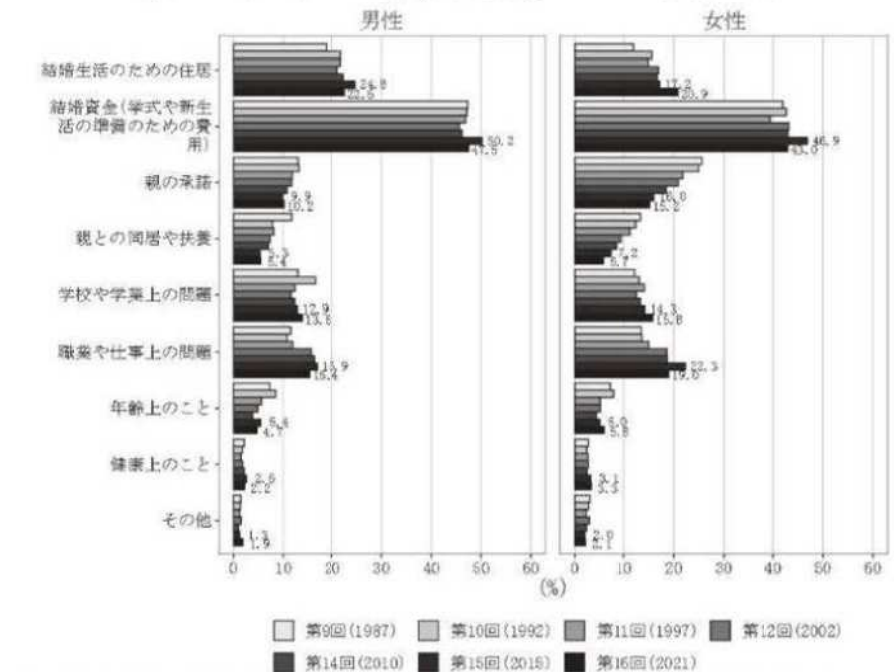


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産―第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

結婚の障害

- 「いずれ結婚するつもり」と考えている18～34歳で「結婚の障害」を選択した未婚者のうち、静岡市と全国との差が最も大きい障害は、男性は「結婚資金」80.8%（【全国】47.5%）、女性は「学校や学業上の問題」34.8%（【全国】15.8%）だった。
- 次いで、男性は「結婚生活のための住居」32.7%（【全国】22.6%）、女性は「職業や仕事上の問題」33.3%（【全国】19.0%）だった。

性別	結婚の障害	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
男性	結婚生活のための住居	32.7%	22.6%
	結婚資金(挙式や新生活の準備のための費用)	80.8%	47.5%
	親の承諾	5.8%	10.2%
	親との同居や扶養	5.8%	5.4%
	学校や学業上の問題	21.2%	13.8%
	職業や仕事上の問題	23.1%	15.4%
	年齢上的こと	11.5%	4.7%
	健康上的こと	5.8%	2.2%
	その他	3.8%	1.9%
女性	結婚生活のための住居	27.3%	20.9%
	結婚資金(挙式や新生活の準備のための費用)	56.1%	43.0%
	親の承諾	16.7%	15.2%
	親との同居や扶養	9.1%	5.7%
	学校や学業上の問題	34.8%	15.8%
	職業や仕事上の問題	33.3%	19.0%
	年齢上的こと	4.5%	5.8%
	健康上的こと	7.6%	3.3%
	その他	7.6%	2.1%



注：対象は「いずれ結婚するつもり」と回答した18～34歳の未婚者。何%の人が各項目を主要な結婚の障害（2つまで選択）として考えているかを示す。第13回調査は、設問選択肢の表現が一部の回と異なるため非掲載。「いずれ結婚するつもり」と回答した18～34歳の未婚者のうち、一年以内の結婚に障害があると回答した割合は、第9回（男性67.1%、女性69.2%）、第10回（同67.9%、71.3%）、第11回（65.0%、67.8%）、第12回（64.5%、70.1%）、第14回（68.1%、71.5%）、第15回（68.3%、70.3%）、第16回（65.2%、69.3%）。設問「現在交際している人（あるいは理想的な相手が見つかった場合）一年以内に結婚するとしたら、なにが障害になるか」とありますが、左下のワタのあてはまる番号に○をつけてください。1に○をつけた方は、右側のワタの中から具体的な障害を2つまで選んで右の回答欄に番号を記入してください。」

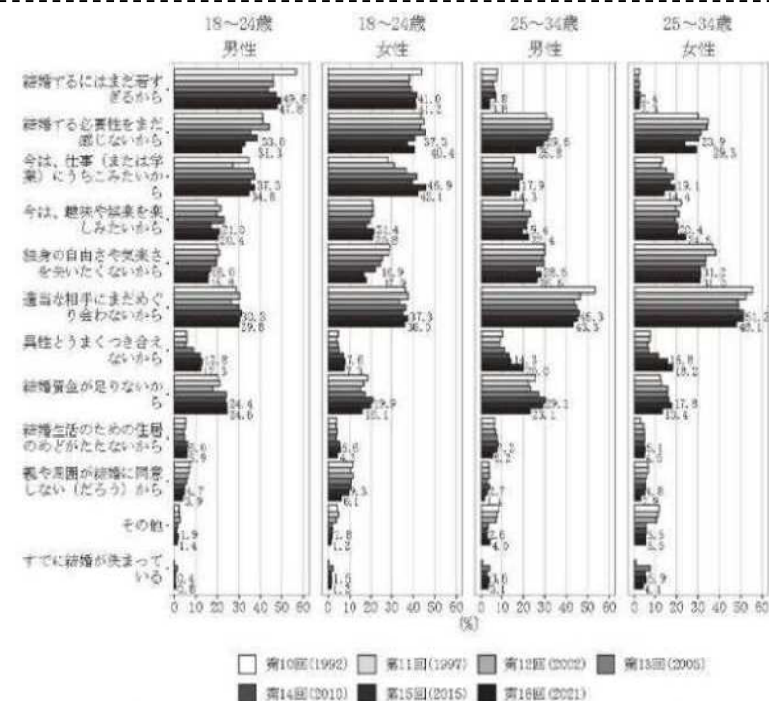
【報告書図表1-3-1 調査別にみた、各「結婚の障害」を選択した未婚者の割合】

出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産—第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

独身でいる理由

- 「いずれ結婚するつもり」と考えている18～34歳の未婚者の「独身でいる理由」で、静岡市と全国との差が最も大きい理由は、男性18～24歳「結婚するにはまだ若すぎるから」70.0%（【全国】47.8%）、男性25～34歳「異性とうまくつき合えないから」39.0%（【全国】20.0%）、女性18～24歳「今は、仕事（または学業）にうちこみたいから」58.7%（【全国】42.1%）、女25～34歳「結婚資金が足りないから」27.7%（【全国】13.4%）だった。

独身でいる理由	男性	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)	女性	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
結婚するにはまだ若すぎるから	18歳～ 24歳	70.0%	47.8%	18歳～ 24歳	49.2%	41.2%
結婚する必要性をまだ感じないから		25.0%	31.3%		25.4%	40.4%
今は、仕事（または学業）にうちこみたいから		45.0%	34.8%		58.7%	42.1%
今は、趣味や娯楽を楽しみたいから		22.5%	20.4%		27.0%	20.8%
独身の自由さや気楽さを失いたくないから		15.0%	15.8%		20.6%	17.9%
適当な相手にまだめぐり会わないから		30.0%	29.8%		38.1%	36.0%
異性とうまくつき合えないから		22.5%	12.3%		12.7%	7.3%
結婚資金が足りないから		37.5%	24.6%		25.4%	16.1%
結婚生活のための住居の目的が立たないから		12.5%	5.9%		6.3%	4.2%
親や周囲が結婚に同意しない（だろう）から		5.0%	3.9%		3.2%	6.1%
その他		2.5%	1.4%		9.5%	1.2%
すでに結婚が決まっている		0.0%	0.8%		4.8%	1.2%
結婚するにはまだ若すぎるから	25歳～ 34歳	12.2%	3.8%	25歳～ 34歳	2.1%	2.3%
結婚する必要性をまだ感じないから		17.1%	25.8%		17.0%	29.3%
今は、仕事（または学業）にうちこみたいから		17.1%	14.3%		23.4%	14.4%
今は、趣味や娯楽を楽しみたいから		29.3%	22.4%		23.4%	24.5%
独身の自由さや気楽さを失いたくないから		29.3%	26.6%		29.8%	31.0%
適当な相手にまだめぐり会わないから		61.0%	43.3%		57.4%	48.1%
異性とうまくつき合えないから		39.0%	20.0%		21.3%	18.2%
結婚資金が足りないから		29.3%	23.1%		27.7%	13.4%
結婚生活のための住居の目的が立たないから		12.2%	5.2%		12.8%	4.5%
親や周囲が結婚に同意しない（だろう）から		0.0%	1.4%		2.1%	2.9%
その他		12.2%	4.0%		8.5%	5.5%
すでに結婚が決まっている		7.3%	3.1%		10.6%	4.1%

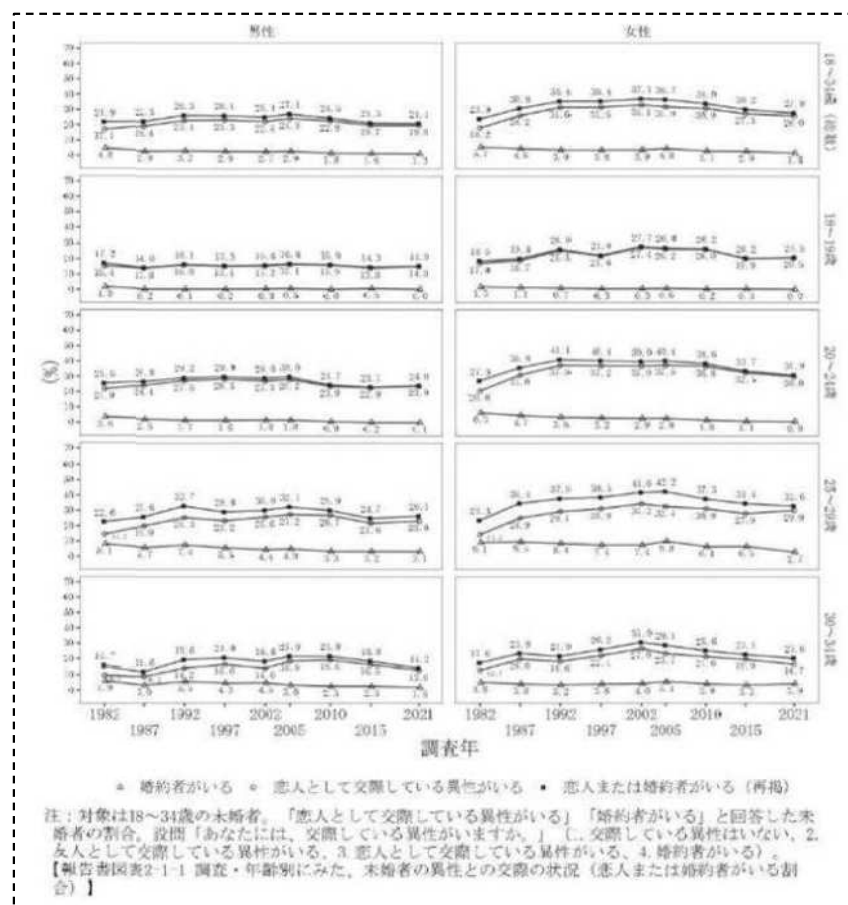


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産―第16回出生動向基本調査（独身者調査ならびに夫婦調査）報告書」

異性との交際の状況

- 「恋人として交際している異性がいる」「婚約者がいる」と答えた18～34歳の未婚者のうち、「恋人または婚約者がいる」で静岡市と全国との差が最も大きい年齢は、男性18～19歳33.3%（【全国】14.9%）、女性20～24歳43.5%（【全国】30.0%）だった。
- 全国の経年変化は、「恋人または婚約者がいる」が2000年代前半をピークに男女とも減少している。

性別	年齢	交際状況	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
男性	18～19歳	婚約者がいる	0.0%	0.0%
		恋人として交際している異性がいる	33.3%	14.9%
		恋人または婚約者がいる	33.3%	14.9%
	20～24歳	婚約者がいる	0.0%	0.1%
		恋人として交際している異性がいる	34.4%	24.0%
		恋人または婚約者がいる	34.4%	23.9%
	25～29歳	婚約者がいる	6.1%	3.1%
		恋人として交際している異性がいる	24.2%	23.0%
		恋人または婚約者がいる	30.3%	26.1%
	30～34歳	婚約者がいる	0.0%	1.5%
		恋人として交際している異性がいる	29.4%	12.6%
		恋人または婚約者がいる	29.4%	14.2%
女性	18～19歳	婚約者がいる	0.0%	0.0%
		恋人として交際している異性がいる	14.8%	20.5%
		恋人または婚約者がいる	14.8%	20.5%
	20～24歳	婚約者がいる	2.2%	0.9%
		恋人として交際している異性がいる	41.3%	30.0%
		恋人または婚約者がいる	43.5%	30.9%
	25～29歳	婚約者がいる	8.3%	2.7%
		恋人として交際している異性がいる	25.0%	29.9%
		恋人または婚約者がいる	33.3%	32.6%
	30～34歳	婚約者がいる	10.0%	3.9%
		恋人として交際している異性がいる	20.0%	16.7%
		恋人または婚約者がいる	30.0%	20.6%

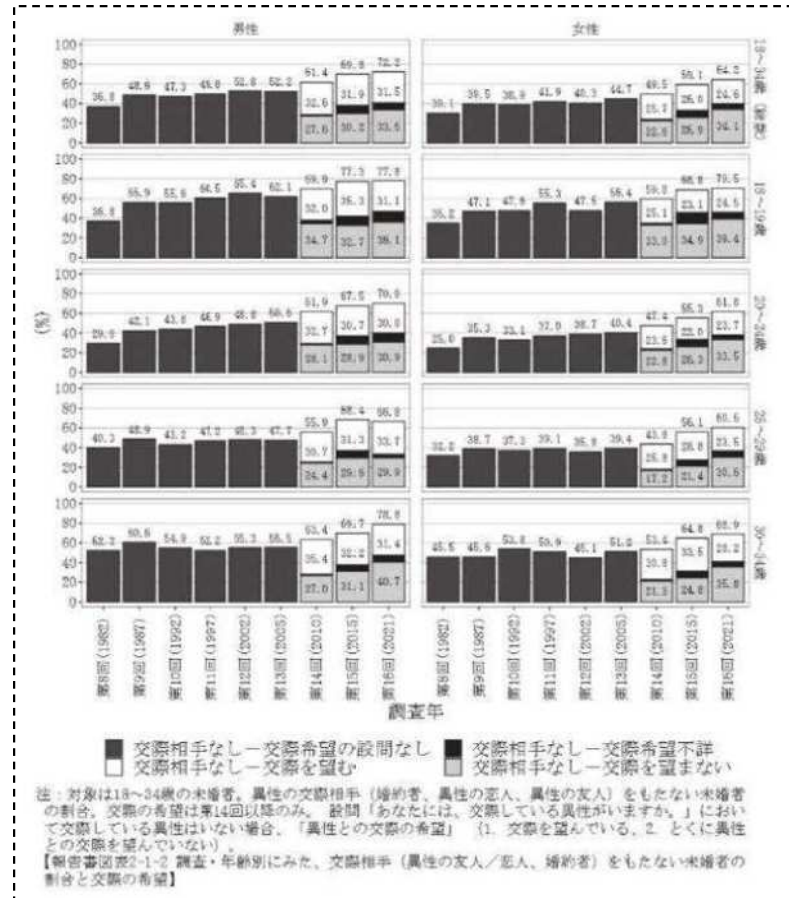


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産—第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

交際相手をもたない未婚者の割合と交際の希望

- 「とくに異性との交際を望んでいない」と答えた18～34歳の未婚者のうち、30～34歳の男性17.6%（【全国】31.4%）、女性46.7%（【全国】35.8%）で、静岡市は全国に比べて男性が低く、女性が高かった。

性別	年齢	交際希望	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
男性	18～19歳	とくに異性との交際を望んでいない	33.3%	36.1%
		交際を望んでいる	16.7%	31.1%
	20～24歳	とくに異性との交際を望んでいない	21.9%	30.9%
		交際を望んでいる	34.4%	30.0%
	25～29歳	とくに異性との交際を望んでいない	24.2%	29.9%
		交際を望んでいる	42.4%	33.7%
	30～34歳	とくに異性との交際を望んでいない	17.6%	40.7%
		交際を望んでいる	47.1%	31.4%
女性	18～19歳	とくに異性との交際を望んでいない	40.7%	39.4%
		交際を望んでいる	37.0%	24.5%
	20～24歳	とくに異性との交際を望んでいない	32.6%	33.5%
		交際を望んでいる	19.6%	23.7%
	25～29歳	とくに異性との交際を望んでいない	30.6%	30.6%
		交際を望んでいる	30.6%	23.5%
	30～34歳	とくに異性との交際を望んでいない	46.7%	35.8%
		交際を望んでいる	20.0%	28.2%

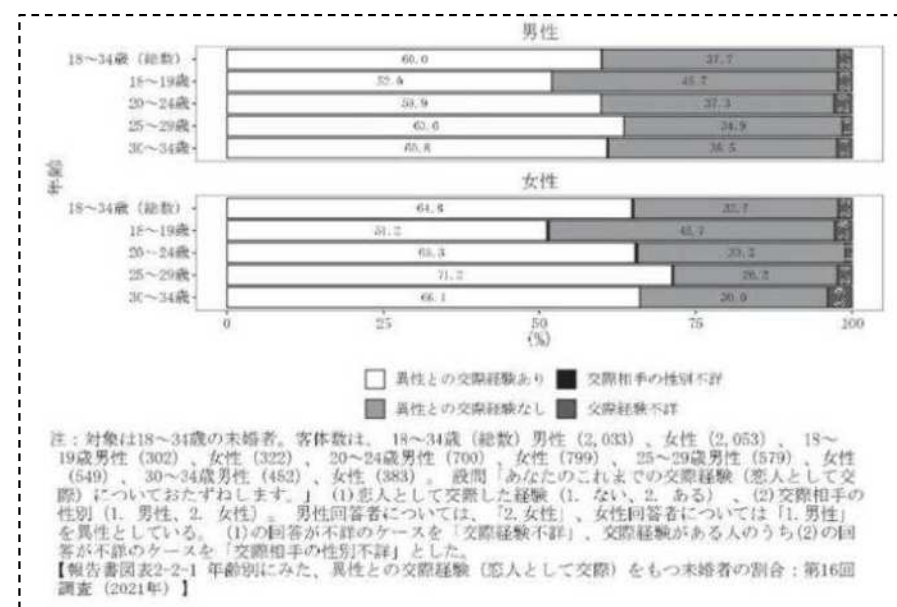


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産―第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

異性との交際経験をもつ未婚者の割合

- 「いずれ結婚するつもり」と考えている18～34歳の未婚者のうち、静岡市と全国との差が最も大きいのは、男性25～29歳「異性との交際経験なし」54.5%（【全国】34.9%）、30～34歳「異性との交際経験あり」76.7%（【全国】66.1%）だった。

性別	年齢	異性との交際経験	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
男性	18～19歳	あり	58.3%	52.0%
		なし	41.7%	45.7%
	20～24歳	あり	59.4%	59.9%
		なし	40.6%	37.3%
	25～29歳	あり	45.5%	63.6%
		なし	54.5%	34.9%
	30～34歳	あり	76.5%	60.8%
		なし	23.5%	36.5%
女性	18～19歳	あり	51.9%	51.2%
		なし	48.1%	45.7%
	20～24歳	あり	63.0%	65.3%
		なし	37.0%	33.2%
	25～29歳	あり	77.8%	71.2%
		なし	22.2%	26.2%
	30～34歳	あり	76.7%	66.1%
		なし	23.3%	30.0%

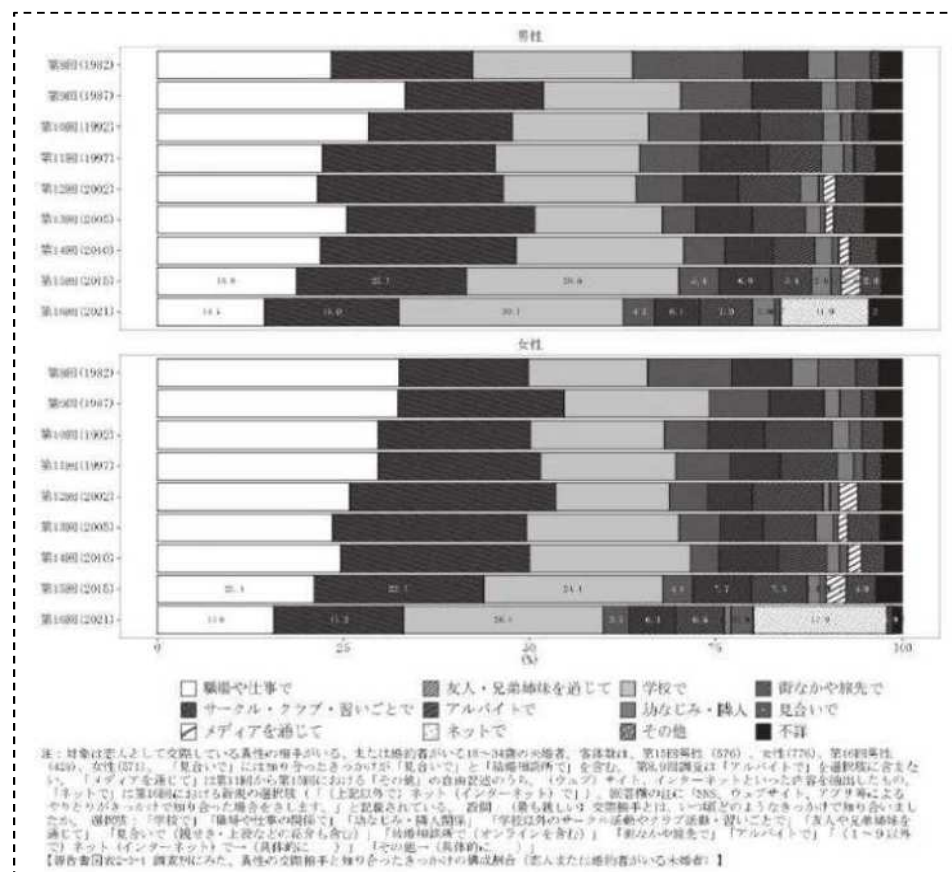


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産—第16回出生動向基本調査（独身者調査ならびに夫婦調査）報告書」

交際相手と知り合ったきっかけ

- 交際している異性の恋人または婚約者がいる18～34歳の未婚者がその相手と知り合ったきっかけのうち、「ネットで」の割合が、男性13.5%（【全国】14.9%）、女性25.0%（【全国】17.9%）で、静岡市は全国に比べて男性が同水準、女性がやや高かった。

性別	質問項目	静岡市 (2024年 度)	全国 (2021年 度)
男性	(上記以外で)ネットで ※SNS、ウェブサイト、アプリ等	13.5%	11.9%
	アルバイトで	5.4%	7.0%
	その他	8.1%	0.2%
	街なかや旅先で	0.0%	4.2%
	学校で	35.1%	30.1%
	学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで	0.0%	6.1%
	見合いで	0.0%	0.7%
	職場や仕事の関係で	21.6%	14.5%
	友人や兄弟姉妹を通じて	13.5%	18.0%
	幼なじみ・隣人関係	2.7%	3.0%
女性	(上記以外で)ネットで ※SNS、ウェブサイト、アプリ等	25.0%	17.9%
	アルバイトで	5.8%	6.5%
	その他	3.8%	0.9%
	街なかや旅先で	5.8%	3.5%
	学校で	34.6%	26.8%
	学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで	7.7%	6.3%
	見合いで	1.9%	3.0%
	職場や仕事の関係で	9.6%	15.8%
	友人や兄弟姉妹を通じて	3.8%	17.3%
	幼なじみ・隣人関係	1.9%	0.9%



出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産—第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

女性の理想・予想のライフコース／男性がパートナーに望むライフコース

- 18～34歳の未婚者で、「非婚就業コース」は女性の理想ライフコース13.7%（【全国】12.2%）に対し、女性の予定ライフコース42.4%（【全国】33.3%）で、その差は28.7%（【全国】21.1%）だった。
- 「両立コース」は、女性の予定ライフコース32.4%（【全国】28.2%）に対し、男性がパートナーに望むライフコース50.0%（【全国】39.4%）で、その差は17.6%（【全国】11.2%）だった。
- 全国の経年変化は、女性が理想とするライフコースは、「両立コース」が最多となり、「非婚就業コース」も増加し、「再就職コース」「専業主婦コース」が減少した。

	ライフコース	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
女性の 理想ライフコース	両立コース	37.4%	34.0%
	専業主婦コース	10.8%	13.8%
	再就職コース	30.2%	26.1%
	DINKsコース	7.9%	7.7%
	非婚就業コース	13.7%	12.2%
女性の 予定ライフコース	両立コース	32.4%	28.2%
	専業主婦コース	2.9%	3.6%
	再就職コース	16.5%	22.7%
	DINKsコース	5.8%	4.9%
	非婚就業コース	42.4%	33.3%
男性がパートナーに 望むライフコース	両立コース	50.0%	39.4%
	専業主婦コース	4.3%	6.8%
	再就職コース	28.7%	29.0%
	DINKsコース	10.6%	5.5%
	非婚就業コース	6.4%	6.5%

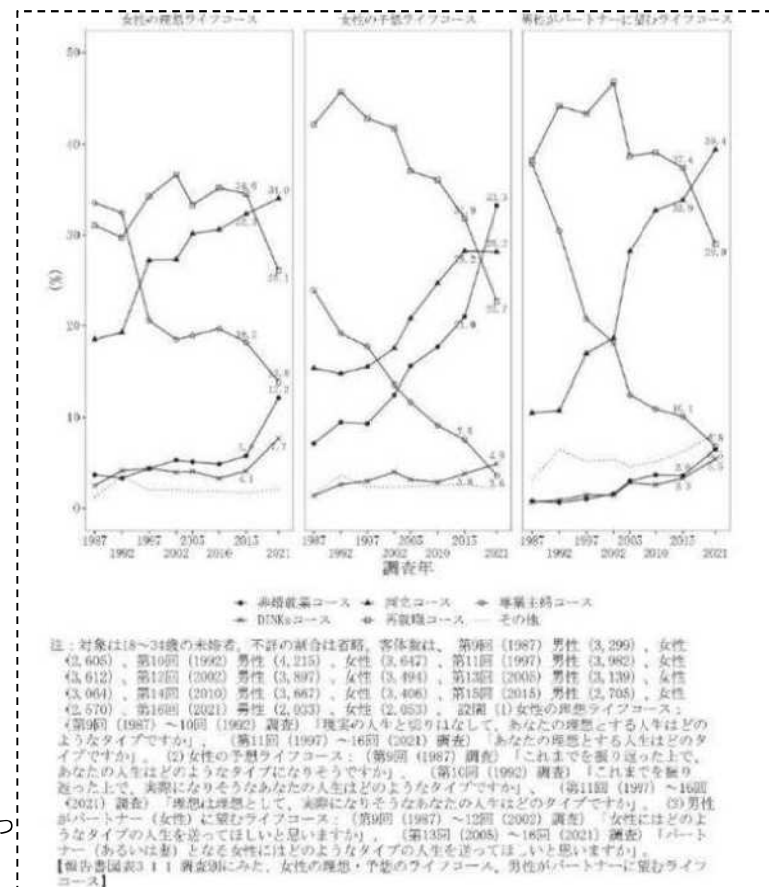
両立コース：結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける

専業主婦コース：結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない

再就職コース：結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ

DINKsコース：結婚するが子どもは持たず、仕事も続ける

非婚就業コース：結婚せず、仕事を続ける

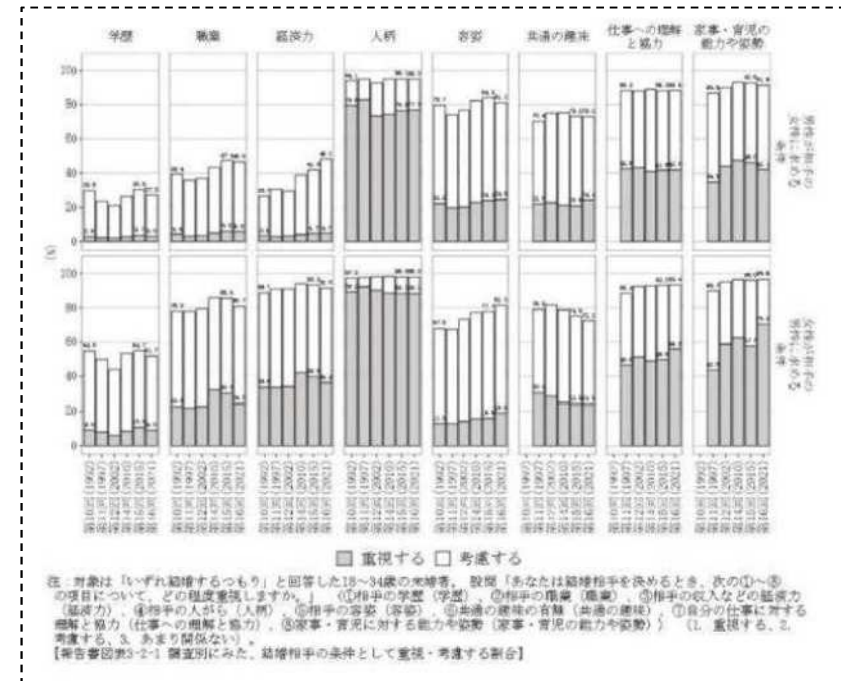


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産—第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

結婚相手の条件

- 「いずれ結婚するつもり」と考えている18～34歳の未婚者の「結婚相手の条件として重視・考慮する」条件のうち、「経済力—あまり関係ない」男性が37.0%（【全国】51.8%）に対し、「経済力—重視する」女性が47.3%（【全国】36.3%）と、静岡市は全国に比べて、男女ともに結婚相手に経済力を求めている。
- 「家事・育児の能力や姿勢—重視する」は、男性が45.7%（【全国】42.1%）、女性が82.7%（【全国】70.2%）と、静岡市は全国に比べて、男女ともに高かった。
- 全国の経年変化は、男性に比べ、女性のほうが相手の学歴・職業・経済力を重視・考慮する傾向があり、1992年依頼、その傾向は変わっていない。

結婚相手の条件		性別	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)	性別	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
学歴	あまり関係ない	男性	61.7%	72.7%	女性	40.9%	48.3%
	考慮する		30.9%	24.3%		43.6%	42.7%
	重視する		7.4%	3.0%		15.5%	9.0%
職業	あまり関係ない		43.2%	53.4%		16.4%	19.3%
	考慮する		49.4%	40.7%		50.9%	56.5%
	重視する		7.4%	5.9%		32.7%	24.2%
経済力	あまり関係ない		37.0%	51.8%		6.4%	8.4%
	考慮する		53.1%	43.5%		46.4%	55.3%
	重視する		9.9%	4.7%		47.3%	36.3%
人柄	あまり関係ない		1.2%	5.0%		0.0%	2.0%
	考慮する		7.4%	18.0%		0.9%	9.8%
	重視する		91.4%	77.0%		99.1%	88.2%
容姿	あまり関係ない		14.8%	18.8%		20.9%	18.7%
	考慮する		61.7%	56.6%		52.7%	62.5%
	重視する		23.5%	24.6%		26.4%	18.8%
共通の趣味	あまり関係ない		29.6%	26.8%		32.7%	27.8%
	考慮する		43.2%	48.8%		42.7%	48.3%
	重視する		27.2%	24.4%		24.5%	23.9%
仕事への理解と協力	あまり関係ない		8.6%	11.5%		5.5%	6.6%
	考慮する		46.9%	46.5%		32.7%	37.5%
	重視する		44.4%	42.0%		61.8%	55.9%
家事・育児の能力や姿勢	あまり関係ない		9.9%	8.5%		0.9%	3.5%
	考慮する		44.4%	49.4%		16.4%	26.3%
	重視する		45.7%	42.1%		82.7%	70.2%



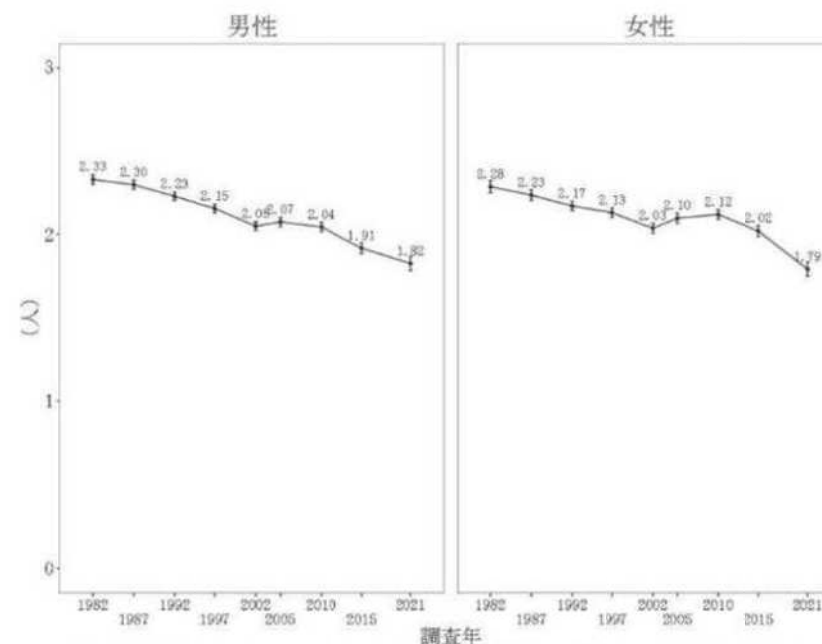
出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産—第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

未婚者の平均希望子ども数

- 「いずれ結婚するつもり」と考えている18～34歳の未婚者の平均希望子ども数は、男性が1.85人(【全国】1.82人)、女性が1.74人(【全国】1.79人)と、静岡市は全国に比べて、男女ともに同水準だった。
- 全国の経年変化は、1982年調査以降おおむね減少傾向が続いている。

性別	静岡市(2024年度)	全国(2021年度)
男性	1.74人	1.82人
女性	1.85人	1.79人

図表 3-3-1 調査別にみた、未婚者の平均希望子ども数



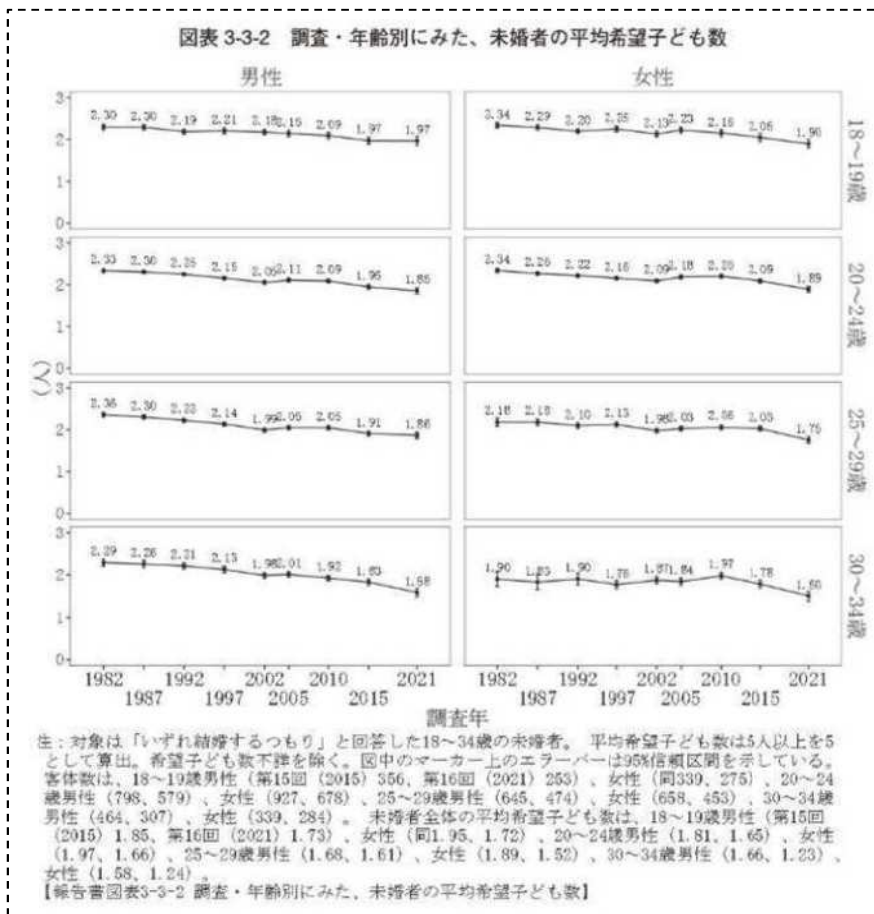
注：対象は「いずれ結婚するつもり」と回答した18～34歳の未婚者。平均希望子ども数は5人以上を5として算出。希望子ども数下群を除く。図中のマーカー上のエラーバーは95%信頼区間を示している。
 客体数は、第12回(2002)男性3,270、女性3,001、第13回(2005)男性2,652、女性2,698、第14回(2010)男性3,084、女性2,993、第15回(2015)男性2,263、女性2,263、第16回(2021)男性1,613、女性1,690。なお、「一生結婚するつもりはない」と回答した18～34歳未婚者の平均希望子ども数は、第12回(2002)男性0.65、女性0.71、第13回(2005)男性0.80、女性0.57、第14回(2010)男性0.59、女性0.49、第15回(2015)男性0.49、女性0.33、第16回(2021)男性0.31、女性0.21であり、18～34歳未婚者全体の平均希望子ども数は、第12回(2002)男性1.96、女性1.96、第13回(2005)男性1.98、女性2.01、第14回(2010)男性1.90、女性2.00、第15回(2015)男性1.74、女性1.88、第16回(2021)男性1.66、女性1.55である。設問「あなたは、(1)子どもは何人くらいほしいですか。」(0. 子どもはいらない、1. 1人、2. 2人、3. 3人、4. 4人、5. 5人以上()人)。
 【報告書図表3-3-1 調査別にみた、未婚者の平均希望子ども数】

出典：国立社会保障・人口問題研究所
 「現代日本の結婚と出産―第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

年齢別にみた、未婚者の平均希望子ども数

- 「いずれ結婚するつもり」と考えている18～34歳の未婚者の年齢別の平均希望子ども数は、男性25～29歳が1.50人(【全国1.86人】)で、静岡市は全国に比べて、低かった。
- 女性30～34歳が2.00人(【全国1.50人】)で、静岡市は全国に比べて、高かった。
- 全国の経年変化は、いずれの年齢層でもおおむね減少傾向が続いている。

年齢	性別	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
18～19歳	男性	1.82人	1.97人
	女性	1.95人	1.90人
20～24歳	男性	1.93人	1.85人
	女性	1.88人	1.89人
25～29歳	男性	1.50人	1.86人
	女性	1.67人	1.75人
30～34歳	男性	1.73人	1.58人
	女性	2.00人	1.50人



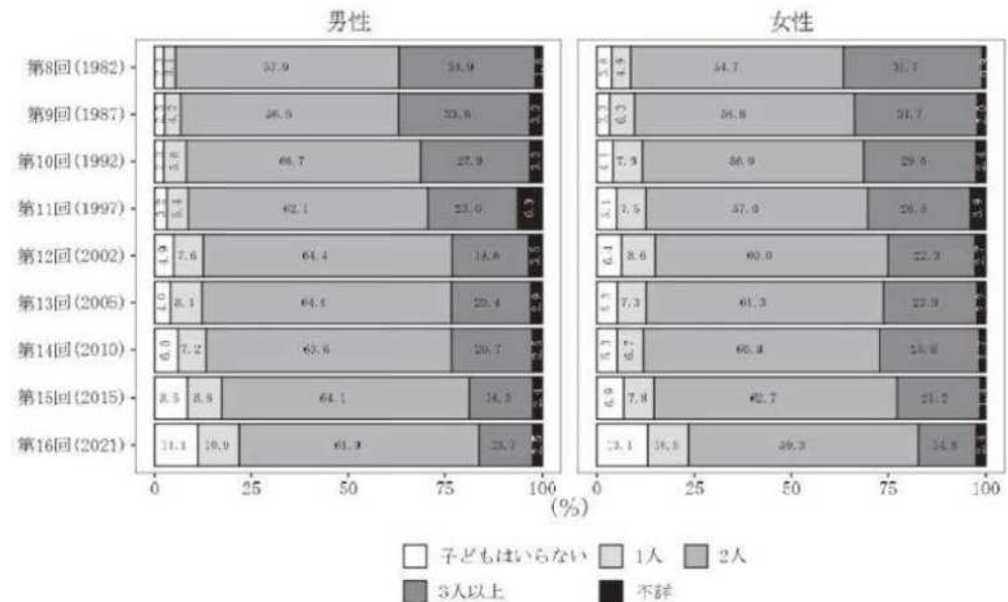
出典：国立社会保障・人口問題研究所
 「現代日本の結婚と出産―第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

未婚者の希望子ども数の分布

- 「いずれ結婚するつもり」と考えている18～34歳の未婚者の平均希望子ども数の分布は、男性「1人」が16.0%（【全国】10.9%）で、静岡市は全国に比べて、高かった。
- 女性「子どもはいるない」が10.0%（【全国】13.1%）で、静岡市は全国に比べて、低かった。
- 全国の経年変化は、「子どもはいるない」が、2021年調査で男女とも1割を超え、特に女性では2015年の6.9%から13.1%へと大きく上昇した。

性別	希望子ども数	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
男性	子どもはいるない	11.1%	11.1%
	1人	16.0%	10.9%
	2人	60.5%	61.9%
	3人以上	12.3%	13.7%
女性	子どもはいるない	10.0%	13.1%
	1人	12.7%	10.5%
	2人	60.9%	59.3%
	3人以上	16.4%	14.8%

図表 3-3-3 調査別にみた、未婚者の希望子ども数の分布



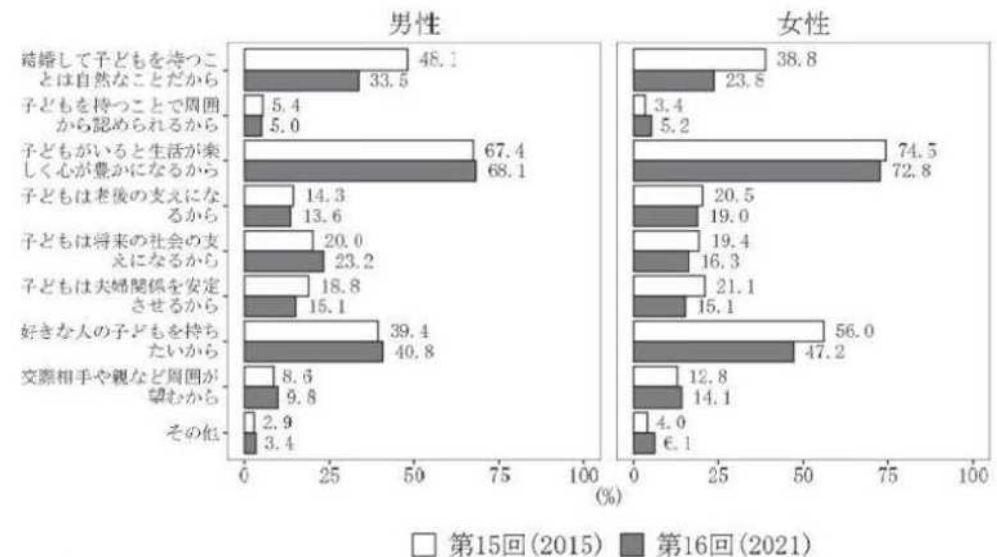
出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産―第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

未婚者の子どもを持つ理由

- 「いずれ結婚するつもり」と考えている18～34歳の未婚者の子どもを持ちたい理由は、男性「子どもがいると生活が楽しく心が豊かになるから」が75.7%（【全国】68.1%）、女性「交際相手や親など周囲が望むから」が22.9%（【全国】14.1%）が、静岡市は全国に比べて高かった。
- 男性「結婚して子どもを持つことは自然なことだから」が18.9%（【全国】33.5%）、女性「子どもは夫婦関係を安定させるから」が9.5%（【全国】15.1%）が、静岡市は全国に比べて低かった。
- 全国の経年変化は、前回調査と同様、「子どもがいると生活が楽しく心が豊かになるから」が男女ともに最多で、7割前後となっている。

性別	子どもを持つ理由	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
男性	結婚して子どもを持つことは自然なことだから	18.9%	33.5%
	子どもを持つことで周囲から認められるから	8.1%	5.0%
	子どもがいると生活が楽しく心が豊かになるから	75.7%	68.1%
	子どもは老後の支えになるから	14.9%	13.6%
	子どもは将来の社会の支えになるから	29.7%	23.2%
	子どもは夫婦関係を安定させるから	17.6%	15.1%
	好きな人の子どもを持ちたいから	44.6%	40.8%
	交際相手や親など周囲が望むから	13.5%	9.8%
	その他	5.4%	3.4%
女性	結婚して子どもを持つことは自然なことだから	21.0%	23.8%
	子どもを持つことで周囲から認められるから	4.8%	5.2%
	子どもがいると生活が楽しく心が豊かになるから	77.1%	72.8%
	子どもは老後の支えになるから	20.0%	19.0%
	子どもは将来の社会の支えになるから	21.0%	16.3%
	子どもは夫婦関係を安定させるから	9.5%	15.1%
	好きな人の子どもを持ちたいから	51.4%	47.2%
	交際相手や親など周囲が望むから	22.9%	14.1%
	その他	11.4%	6.1%

図表 3-3-4 調査別にみた、未婚者の子どもを持つ理由



注：対象は「いずれ結婚するつもり」で希望子ども数が1人以上と回答した18～34歳の未婚者。不詳を含まない選択率。複数回答のため合計値は100%を超える。客体数は、第15回男性（1,990）、女性（2,029）、第16回男性（1,393）、女性（1,435）。設問「1人以上の子どもをほしいとお考えになる理由は何ですか。下の理由のうちから、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。」

【報告書図表3-3-4 調査別にみた、未婚者の子どもを持つ理由】

出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産—第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

静岡市版出生動向基本調査(夫婦調査)

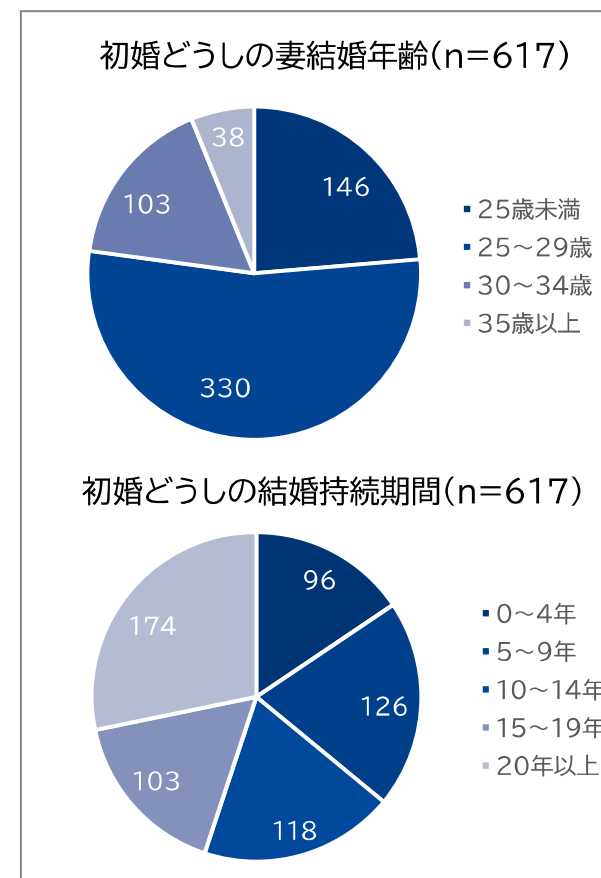
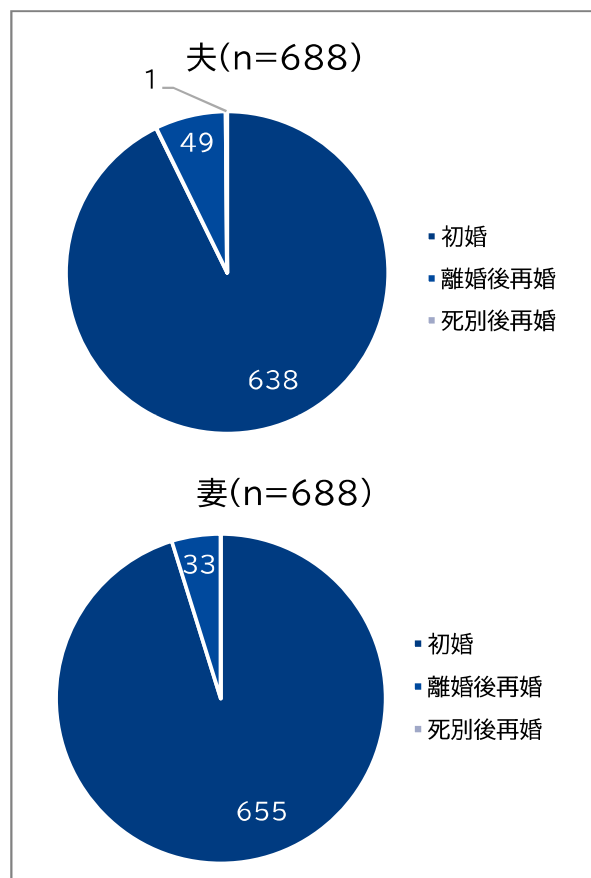
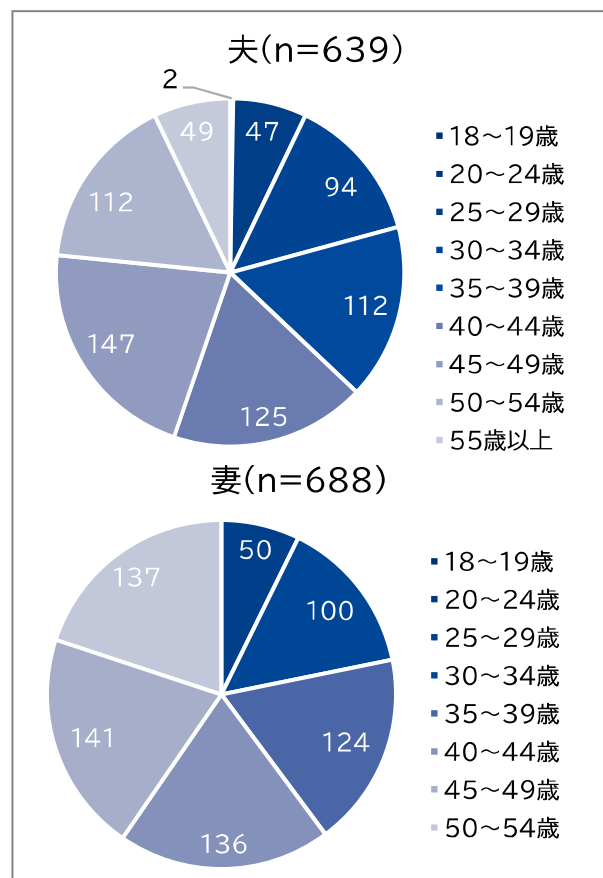


静岡市版出生動向基本調査(夫婦調査)の回答状況・回答者属性

回答状況

- 調査対象者:18歳以上55歳未満(令和6年4月1日時点)の既婚女性3,000人
- 全体回答数:698人
- 有効回答数:688人(有効回答率:22.9%) ※年齢など調査対象外の10票を集計対象から除外。

回答者属性



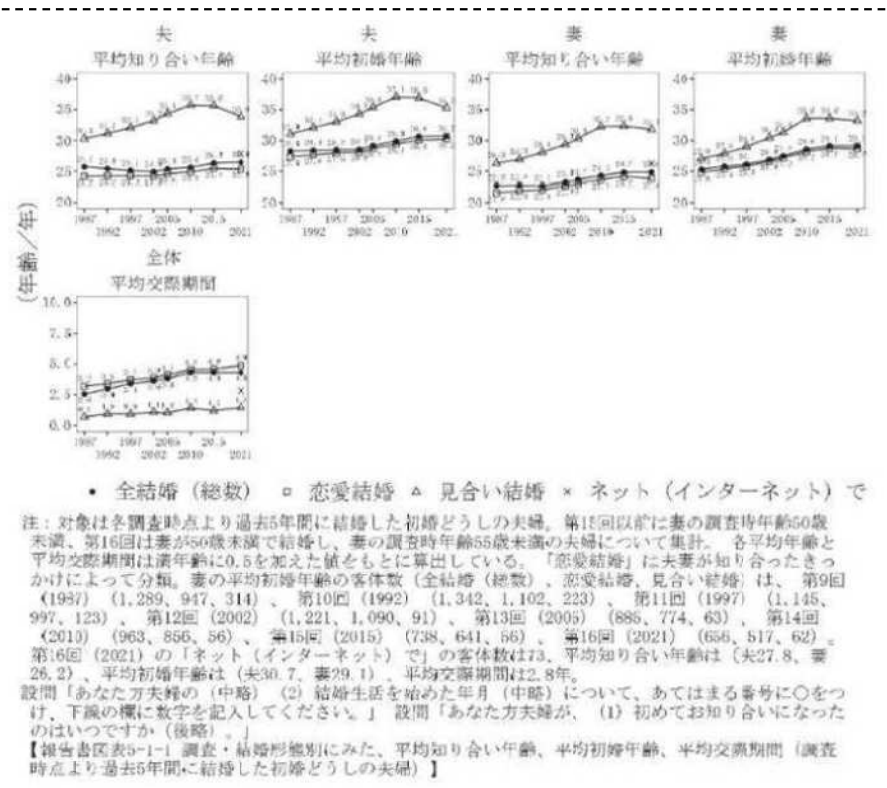
静岡市版出生動向基本調査(夫婦調査) 質問項目

問	質問内容	問	質問内容	問	質問内容
1	(1) 出生年月	11	(1) 現在の結婚を決めたときの勤務先の雇用形態	21	(1) 今後の出産の予定
	(2) 性別		(2) 現在の結婚を決めたときの勤務先の職種		(2) 出産の希望時期
	(3) 居住する区		(3) 現在の結婚を決めたときの勤務先の従業員数		(3) 出産の希望年齢
	(4) 居住する町名		(4) 結婚直後の勤務先の雇用形態	22	予定子ども数
2	(1) 在学・卒業の別		(5) 結婚直後の勤務先の職種	23	持つつもりの子どもの数が実現できない理由
	(2) 在学中または最後に卒業した学校		(6) 結婚直後の勤務先の従業員数	24	持つつもりの子どもの数が理想的な子ども数より少ない理由
	(3) 最後に学校を卒業したときの年齢	12	(1) 最後に学校を卒業した直後の夫の勤務先の雇用形態	25	(1) 子どもを持った時の勤務状況
3	(1) 最後に学校を卒業した直後の勤務先の雇用形態(正規・非正規等)		(2) 最後に学校を卒業した直後の夫の勤務先の職種		(2) 子どもを持った時の勤務先の従業員数
	(2) 最後に学校を卒業した直後の勤務先の職種		(3) 最後に学校を卒業した直後の夫の勤務先の従業員数	26	(1) 第1子～第3子の妊娠がわかった時の勤務先の雇用形態
	(3) 最後に学校を卒業した直後の勤務先の従業員数		(4) 現在の結婚を決めたときの夫の勤務先の雇用形態		(2) 第1子～第3子の妊娠がわかった時の勤務先の従業員数
	(4) 現在の勤務先の雇用形態		(5) 現在の結婚を決めたときの夫の勤務先の職種		(3) 第1子～第3子が1歳になった時の勤務先の雇用形態
	(5) 現在の勤務先の職種		(6) 現在の結婚を決めたときの夫の勤務先の従業員数		(4) 第1子～第3子が1歳になった時の勤務先の従業員数
	(6) 現在の勤務先の従業員数		(7) 現在の夫の勤務先の雇用形態	27	(1) 未子誕生後、現在までの就業の有無
4	(1) 勤務日の1日当たりの労働時間		(8) 現在の夫の勤務先の職種		(2) 未子誕生後、現在までの就業形態
	(2) 1週間の平均的な労働日数		(9) 現在の夫の勤務先の従業員数		(3) 未子誕生後、現在までの勤務先の従業員数
	(3) 現在の仕事の勤続年数	13	(1) 夫の1日当たりの平均的な労働時間		(4) 未子誕生後の就業時期
	(4) 今年の3月の収入		(2) 夫の1週間の平均的な労働日数	28	(1) 妻の母からの子育ての手伝いの状況
	(5) 昨年の年収		(3) 夫の現在の仕事の勤続年数		(2) 妻の父からの子育ての手伝いの状況
5	(1) 両親の出生年		(4) 夫の今年の3月の収入		(3) 夫の母からの子育ての手伝いの状況
	(2) 両親の年齢		(5) 夫の昨年の収入		(4) 夫の父からの子育ての手伝いの状況
	(3) 両親の学歴	14	(1) 就業希望の有無		(5) 夫の家事・育児頻度
6	兄弟姉妹の数		(2) 希望する就業形態	29	(1) 妻の母、及び夫の母との同居状況
7	(1) 夫の出生年月	15	これまでに産んだ子どもの数		(2) 利用した制度・施設
	(2) 夫の学歴	16	これまで経験した妊娠の回数	30	(1) 夫の両親の出生年
	(3) 結婚生活を始めた年月	17	(1) 妊娠の結果		(2) 夫の両親の学歴
	(4) 結婚を届け出た年月		(2) 妊娠・出産の時期	31	夫婦各々の兄弟姉妹の数
	(5) 初婚・再婚の別		(3) 妊娠前の予定	32	結婚、男女関係、家庭、子どもの有無に関する考え
8	(1) 夫婦が初めて知り合った年月	18	(1) 不妊に関する悩みの有無	33	妻の結婚前の身近な状況
	(2) 婚約または結婚の合意の年月		(2) 不妊治療の経験	34	結婚当時の希望子ども数
	(3) 同棲期間の有無及び期間	19	(1) 理想的な子どもの数	35	現在の結婚以前に生んだ子どもの数
9	夫婦の知り合ったきっかけ		(2) 子どもの男女の別や組み合わせの理想	36	(1) 【再婚の方のみ】最初の結婚生活を始めた年月
10	結婚を決めた直接のきっかけ(2つ)	20	理想的な子どもが1人以上の理由		(2) 【再婚の方のみ】同居をやめた年月
				37	自由意見

平均知り合い年齢、平均初婚年齢、平均交際期間

- 初婚どうしの夫婦における平均知り合い・初婚年齢は、静岡市は全国と比べ、「見合い結婚」が夫婦ともに下回っているが、他の結婚形態は同水準だった。
- 初婚どうしの平均交際期間は3.6年【全国版4.3年】と、静岡市は全国に比べ短かった。

初婚どうしの夫婦		結婚形態	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
夫	平均 知り合い年齢	全結婚(総数)	25.0歳	26.4歳
		恋愛結婚	24.0歳	25.3歳
		見合い結婚	29.4歳	33.9歳
		ネット(インターネット)で	27.4歳	27.8歳
	平均 初婚年齢	全結婚(総数)	29.1歳	30.7歳
		恋愛結婚	29.0歳	30.2歳
		見合い結婚	30.6歳	35.3歳
		ネット(インターネット)で	29.5歳	30.7歳
妻	平均 知り合い年齢	全結婚(総数)	24.7歳	24.9歳
		恋愛結婚	23.5歳	23.8歳
		見合い結婚	29.4歳	31.7歳
		ネット(インターネット)で	27.0歳	26.2歳
	平均 初婚年齢	全結婚(総数)	28.7歳	29.1歳
		恋愛結婚	28.4歳	28.6歳
		見合い結婚	30.5歳	33.2歳
		ネット(インターネット)で	28.7歳	29.1歳
全体	平均 交際期間	全結婚(総数)	3.6年	4.3年
		恋愛結婚	4.5年	4.9年
		見合い結婚	1.0年	1.5年
		ネット(インターネット)で	1.7年	2.8年

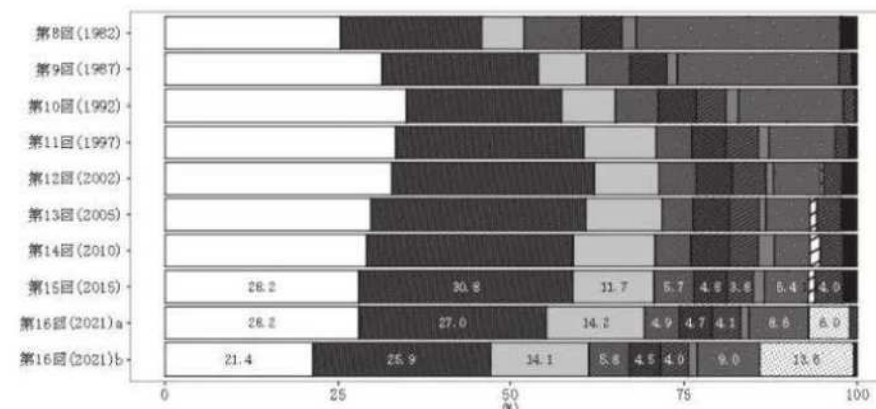


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産—第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

夫婦が知り合ったきっかけ

- 結婚持続期間6年未満の初婚どうしの夫婦が知り合ったきっかけのうち、「友人や兄弟姉妹を通じて」は全体の23.7%【全国版25.9%】で、静岡市は全国に比べてやや低いものの、全体的に全国と同様の傾向を示している。

知り合ったきっかけ	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
友人や兄弟姉妹を通じて	23.7%	25.9%
職場や仕事の関係で	20.2%	21.4%
学校で	13.2%	14.1%
ネット(インターネット)で	13.2%	13.6%
見合い結婚(見合いで、結婚相談所で)	7.0%	9.0%
街なかや旅先で	6.1%	5.8%
学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで	4.4%	4.5%
アルバイトで	2.6%	4.0%
幼なじみ・隣人関係	0.9%	1.3%
その他	8.8%	0.3%



注：対象は、第15回以前は結婚持続期間5年未満で妻の調査時年齢50歳未満、第16回は結婚持続期間6年未満で、妻が50歳未満で結婚し、妻の調査時年齢55歳未満の初婚どうしの夫婦。第16回は結婚年月で期間を2つに分けて集計。(2021) a:結婚が2015年7月～2018年6月、(2021) b:結婚が2018年7月～2021年6月。母体数は、第15回(894)、第16回(2021)a(486)、第16回(2021)b(398)。見合い結婚とは知り合ったきっかけが「見合いで」、「結婚相談所」の結婚。第8,9回調査は「アルバイト」を選択肢に含まない。「メディアを通じて」は第11回から第15回における「その他」の自由記述のうち、「ウェブ」サイト、インターネットといった内容を抽出したもの。「ネットで」は第16回における新規の選択肢(「上記以外で」ネット(インターネット)で)。回答欄の注に「SNS、ウェブページ、アプリ等によるやりとりがきっかけで知り合った場合をさします。」と記載されている。グラフ内に表示していない第16回調査の結果(a, b)は、「幼なじみ・隣人」(1.2%, 1.3%)、「その他」(1.0%, 0.3%)、「不詳」(0%, 0.3%)。設問:あなた方ご夫婦はどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。選択肢:「学校で」「職場や仕事の関係で」「幼なじみ・隣人関係」「学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで」「友人や兄弟姉妹を通じて」「見合いで(親せき・上役などの紹介も含む)」「結婚相談所(オンラインを含む)」「街なかや旅先で」「アルバイトで」「(1～9以外で)ネット(インターネット)で→(具体的に)」「その他→(具体的に)」

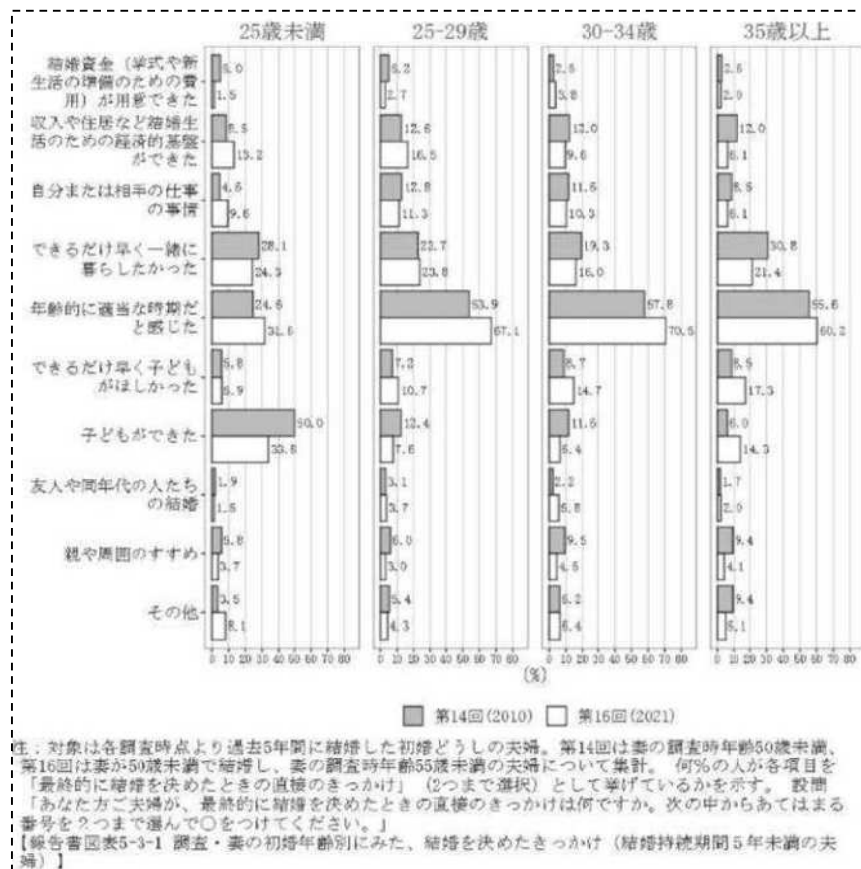
【報告書図表6-2-2 調査別みた、夫と妻が知り合ったきっかけの構成割合(調査時点より過去6年間に結婚した初婚どうしの夫婦(第16回は過去6年間の結婚))】

出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産—第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

結婚を決めたきっかけ

- 過去5年間に結婚した初婚どうしの夫婦の結婚を決めたきっかけを年齢別にみると、30～34歳にかけて「年齢的に適当な時期だと感じた」が25～29歳で68.8%（【全国】67.1%）から30～34歳83.5%（【全国】70.5%）にかけて急増している。
- 若い世代ほど「子どもができた」の割合が高くなる。
- 全国の経年変化は、25歳未満の「子どもができた」が2021年調査で33.8%と最多であったが、2010調査の50.0%からは大きく減少した。

妻の初婚年齢	結婚を決めたきっかけ	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
25歳未満	収入や住居など結婚生活のための経済的基盤ができた	19.2%	13.2%
	できるだけ早く一緒に暮らしたかった	26.7%	24.3%
	年齢的に適当な時期だと感じた	39.0%	31.6%
	子どもができた	24.7%	33.8%
25～29歳	収入や住居など結婚生活のための経済的基盤ができた	13.3%	16.5%
	できるだけ早く一緒に暮らしたかった	18.2%	23.8%
	年齢的に適当な時期だと感じた	68.8%	67.1%
	子どもができた	9.1%	7.6%
30～34歳	収入や住居など結婚生活のための経済的基盤ができた	9.7%	9.6%
	できるだけ早く一緒に暮らしたかった	9.7%	16.0%
	年齢的に適当な時期だと感じた	83.5%	70.5%
	子どもができた	7.8%	6.4%
35歳以上	収入や住居など結婚生活のための経済的基盤ができた	10.5%	6.1%
	できるだけ早く一緒に暮らしたかった	21.1%	21.4%
	年齢的に適当な時期だと感じた	68.4%	60.2%
	子どもができた	5.3%	14.3%

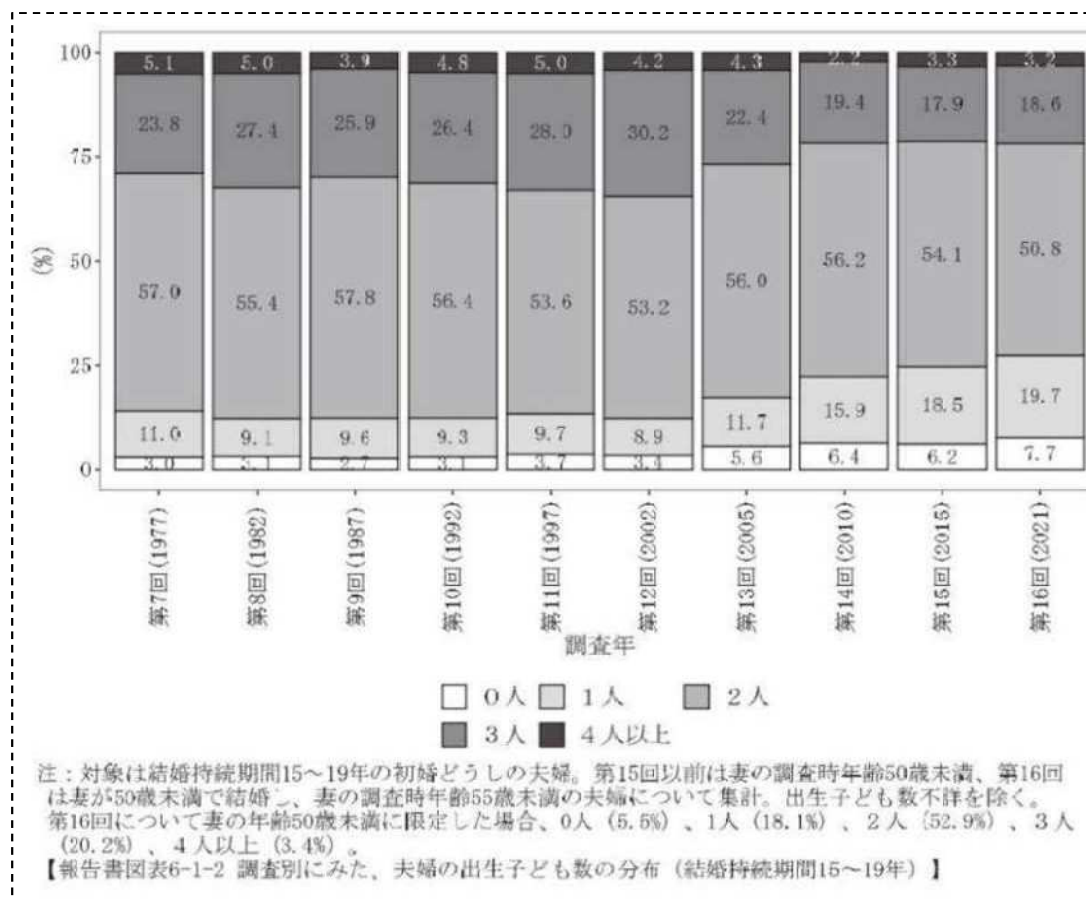


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産—第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

夫婦の出生子ども数の分布

- 結婚持続期間15～19年の初婚どうしの夫婦の出生子ども数は、静岡市は全国と比べて、「1人」は11.7%（【全国】19.7%）で下回った一方で、「2人」は56.3%（【全国】50.8%）で上回っている。
- 全国の経年変化は、2002年調査以降、「0人」「1人」がゆるやかに増加している。

出生子ども数	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
0人	9.7%	7.7%
1人	11.7%	19.7%
2人	56.3%	50.8%
3人	19.4%	18.6%
4人	2.9%	3.2%

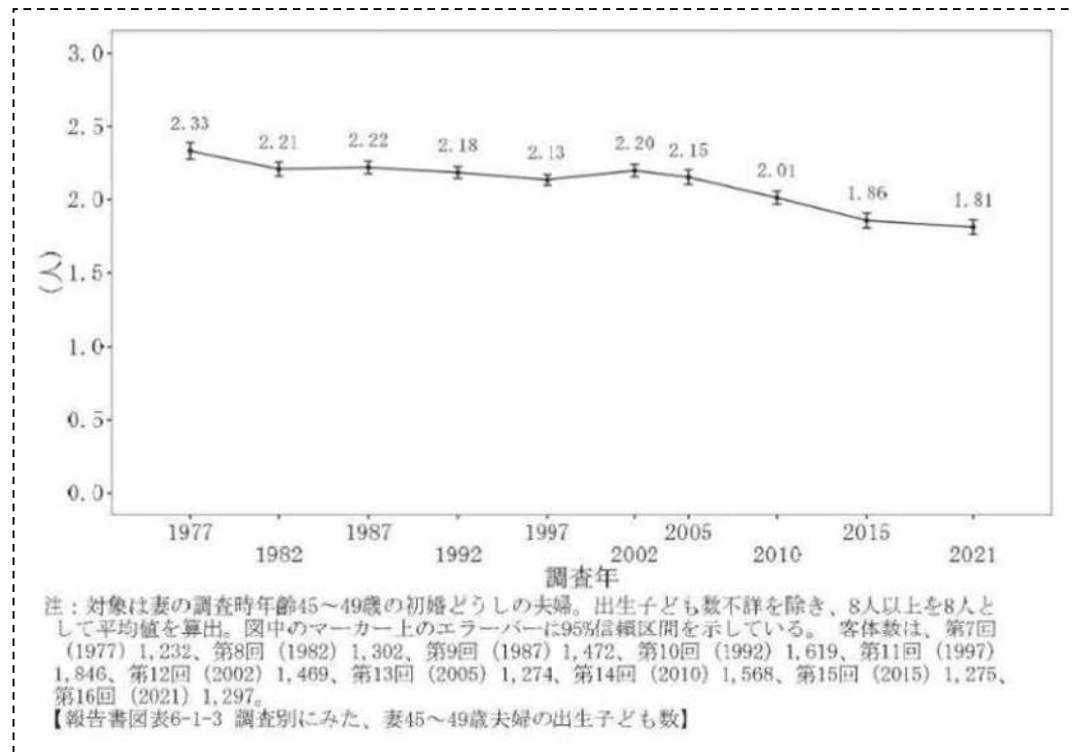


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産—第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

45～49歳夫婦の出生子ども数

- 妻が45～49歳の初婚どうしの夫婦の出生子ども数は、1.85人(【全国】1.81)で、静岡市は全国よりやや上回っている。
- 全国の経年変化は、2002年調査以降で減少し続けている。

	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
妻45～49歳 夫婦の出生子 ども数	1.85人	1.81人

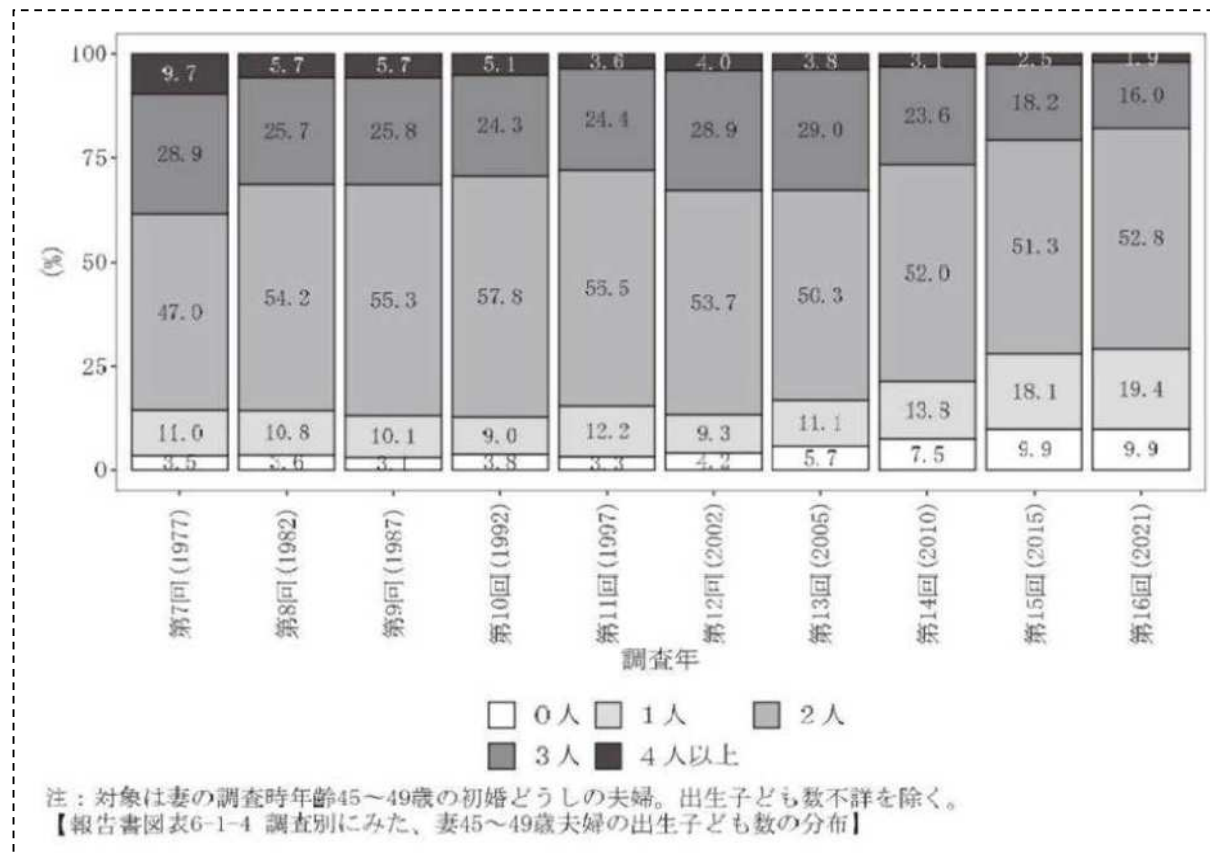


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産―第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

45～49歳夫婦の出生子ども数の分布

- 妻が45～49歳の初婚どうしの夫婦の出生子ども数の分布は、静岡市は全国と比べ、「2人」が58.4%（【全国】52.8%）で上回っているが、「1人」と「3人」の合計が29.6%（【全国】35.4%）で、同程度下回っている。
- 全国の経年変化は、2002年調査以降、「0人」「1人」がゆるやかに増加している。

妻45～49歳 夫婦の出生子 ども数	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
0人	8.8%	9.9%
1人	16.8%	19.4%
2人	58.4%	52.8%
3人	12.8%	16.0%
4人	3.2%	1.9%

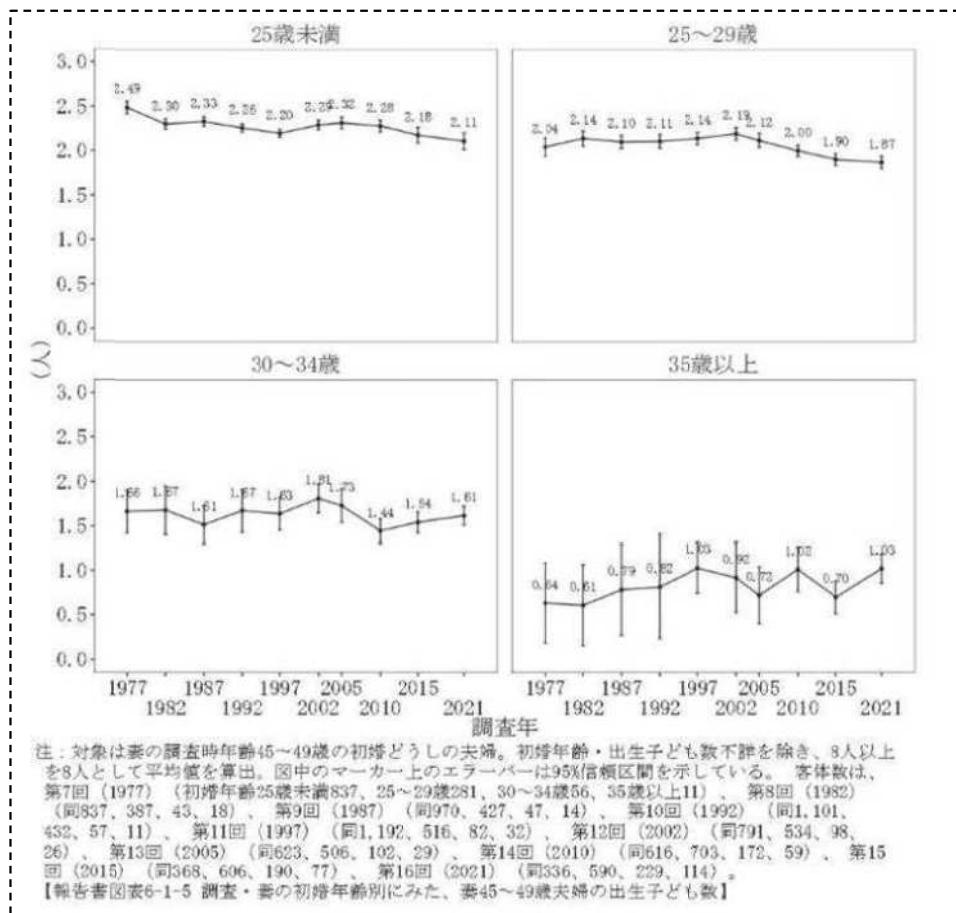


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産―第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

妻45～49歳夫婦の出生子ども数(妻の初婚年齢別)

- 妻が45～49歳の初婚どうしの夫婦のうち、妻の初婚年齢別の出生子ども数は、静岡市は全国と比べ、「25歳未満」2.03人(【全国】2.11人)で下回る一方で、「35歳以上」1.56人(【全国】1.03人)で上回っている。
- 全国の経年変化は、「25～29歳」は、長く2人以上を上回る水準を示していたが、2015年調査で2人を下回り、2021年調査では、さらに減少した。

妻の初婚年齢	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
25歳未満	2.03人	2.11人
25～29歳	1.87人	1.87人
30～34歳	1.62人	1.61人
35歳以上	1.56人	1.03人

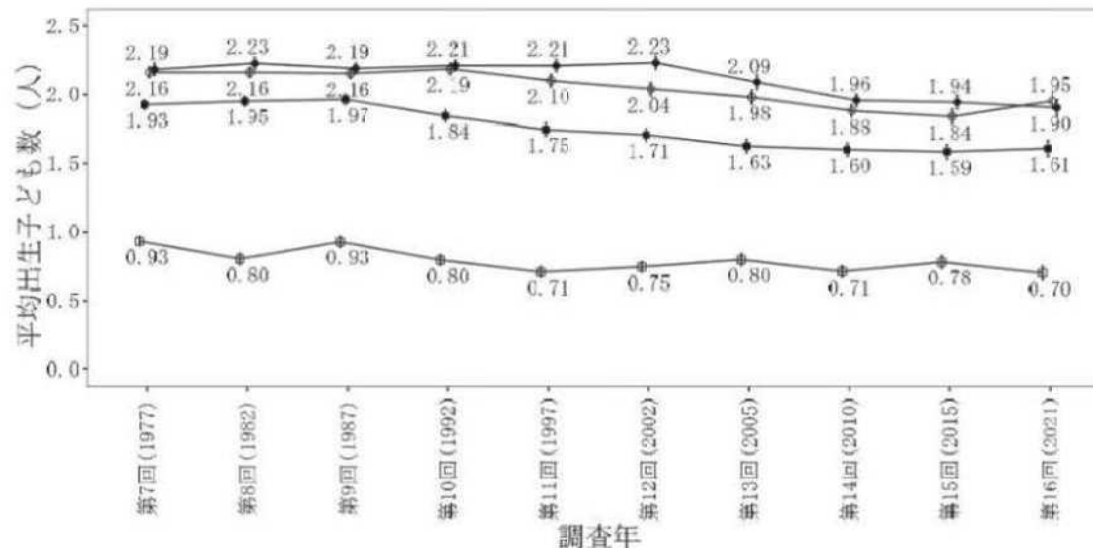


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産―第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

夫婦の平均出生子ども数(結婚持続期間別)

- 初婚どうしの夫婦の平均出生子ども数を結婚持続期間別に静岡市と全国を比べると、「0～4年」から「10～14年」まで全国を下回るが、「15～19年」で初めて全国を上回る。
- 全国の経年変化は、「5～9年」「10～14年」で下げ止まりをみせている。

結婚持続期間	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
0～4年	0.57人	0.70人
5～9年	1.43人	1.61人
10～14年	1.81人	1.95人
15～19年	1.94人	1.90人



□ 0～4年 ・ 5～9年 ○ 10～14年 ・ 15～19年

注：対象は第15回以前は妻の調査時年齢50歳未満、第16回は妻が50歳未満で結婚し、妻の調査時年齢55歳未満の初婚どうしの夫婦。出生子ども数不詳を除き、8人以上を8人として平均値を算出。図中のマーカー上のエラーバーは95%信頼区間を示している。客体数は、結婚持続期間0～4年（第15回 883、第16回 716）、5～9年（第15回1,056、第16回 902）、10～14年（第15回1,128、第16回1,033）、15～19年（第15回1,232、第16回 948）。

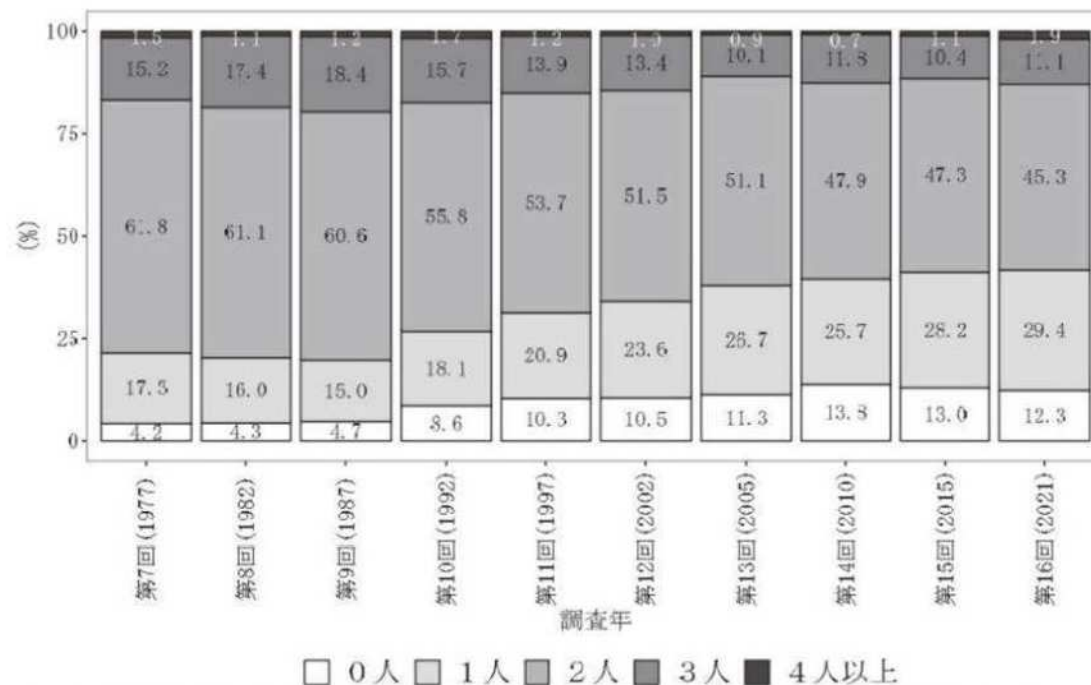
【報告書図表6-2-1 調査・結婚持続期間別にみた、夫婦の平均出生子ども数】

出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産―第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

夫婦の出生子ども数の分布(結婚持続期間5～9年)

- 初婚どうして結婚持続期間が5～9年の夫婦の出生子ども数の分布は、静岡市は全国と比べ、「1人」は38.1%([全国]29.4%)で上回っているが、「2人」では38.9%([全国]45.3%)で下回っている。
- 全国の経年変化は、1990年代から「1人」がゆるやかに増加している。

夫婦の 出生子ども数 (結婚持続期間 5～9年)	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
0人	14.3%	12.3%
1人	38.1%	29.4%
2人	38.9%	45.3%
3人	7.9%	11.1%
4人	0.8%	1.9%



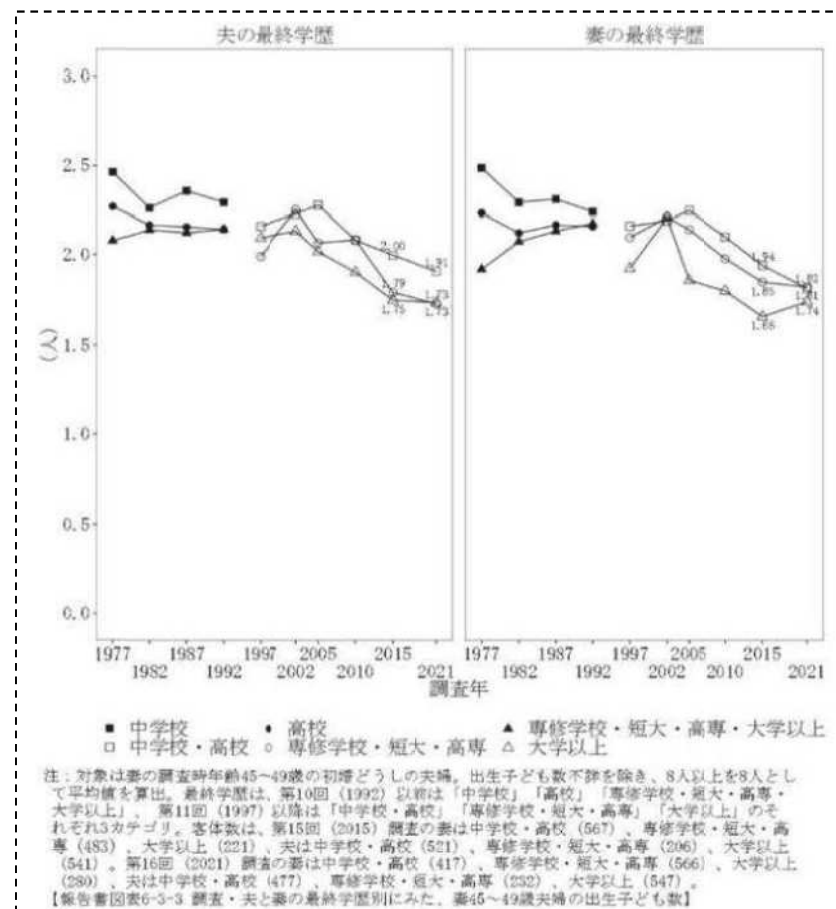
注：対象は結婚持続期間5～9年の初婚どうしの夫婦。第15回以前は妻の調査時年齢50歳未満、第16回は妻が50歳未満で結婚し、妻の調査時年齢55歳未満の夫婦について集計。出生子ども数不詳を除く。客体数は、第7回(1,957)、第8回(1,757)、第9回(1,608)、第10回(1,549)、第11回(1,276)、第12回(1,325)、第13回(1,233)、第14回(1,334)、第15回(1,056)、第16回(902)。
【報告書図表6-2-2 調査別にみた、夫婦の出生子ども数の分布(結婚持続期間5～9年)】

出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産―第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

妻45～49歳夫婦の出生子ども数(夫と妻の最終学歴別)

- 妻が45～49歳の初婚どうしの夫婦の出生子ども数を最終学歴別にみると、静岡市と全国的とで差が大きいのは、夫「専修学校・短大・高専」で2.09人(【全国】1.73人)、妻「大学以上」で1.85人(【全国】1.74人)だった。
- 全国の経年変化は、これまでおおむね学歴が高いほど子ども数が低い傾向がみられたが、2021年調査では、学歴間の差がやや縮小した。

	最終学歴	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
夫	大学以上	1.77人	1.73人
	専修学校・短大・高専	2.09人	1.73人
	中学校・高校	1.83人	1.91人
妻	大学以上	1.85人	1.74人
	専修学校・短大・高専	1.83人	1.82人
	中学校・高校	1.88人	1.81人

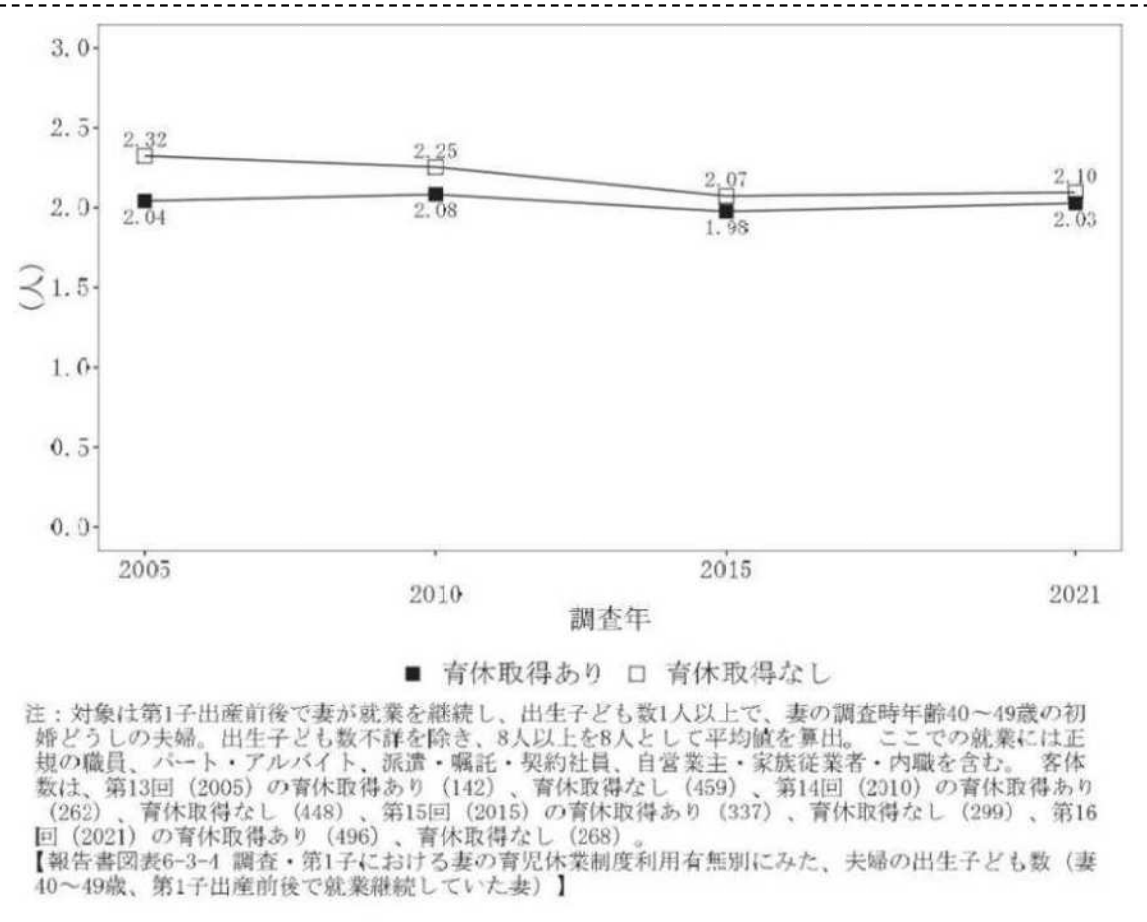


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産―第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

妻45～49歳夫婦の出生子ども数(第1子における妻の育児休業制度利用有無別)

- 第一子出産前後で就業を継続し、初婚どうしの45～49歳の育児休業制度を利用した妻と利用していない妻との平均出生子ども数の差は0.42人(【全国】0.07人)であり、静岡市は全国に比べ、差が大きい。
- 全国の経年変化は、長年育休制度を利用した妻の方が、利用していない妻よりも子ども数が下回っていたが、年々両社の差が縮小している。

妻の 育休取得	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
あり	1.85人	2.03人
なし	2.27人	2.10人

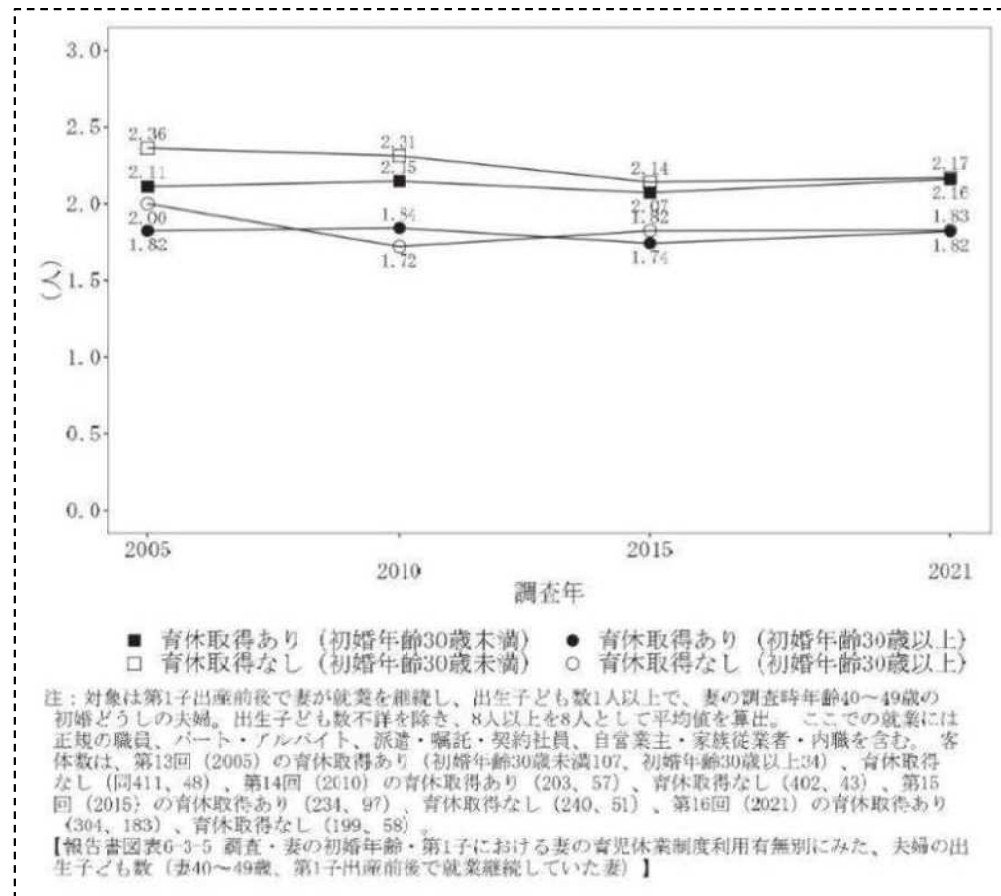


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産―第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

妻45～49歳夫婦の出生子ども数(妻の初婚年齢・第1子における妻の育児休業制度利用有無別)

- 第一子出産前後で就業を継続し、初婚どうしの妻の初婚年齢別に平均出生子ども数をみると、30歳未満で育休制度の利用有無での子ども数の差が0.37人(【全国】0.01人)、30歳以上が0.43人(【全国】0.01人)で、静岡市は全国と比べ、いずれの年齢も差が大きい。
- 全国の経年変化は、長年育休制度を利用した妻と利用していない妻との子ども数の差が年々縮小している。

妻の 初婚年齢	妻の 育休取得	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
30歳未満	あり	1.95人	2.16人
	なし	2.32人	2.17人
30歳以上	あり	1.67人	1.82人
	なし	2.10人	1.83人

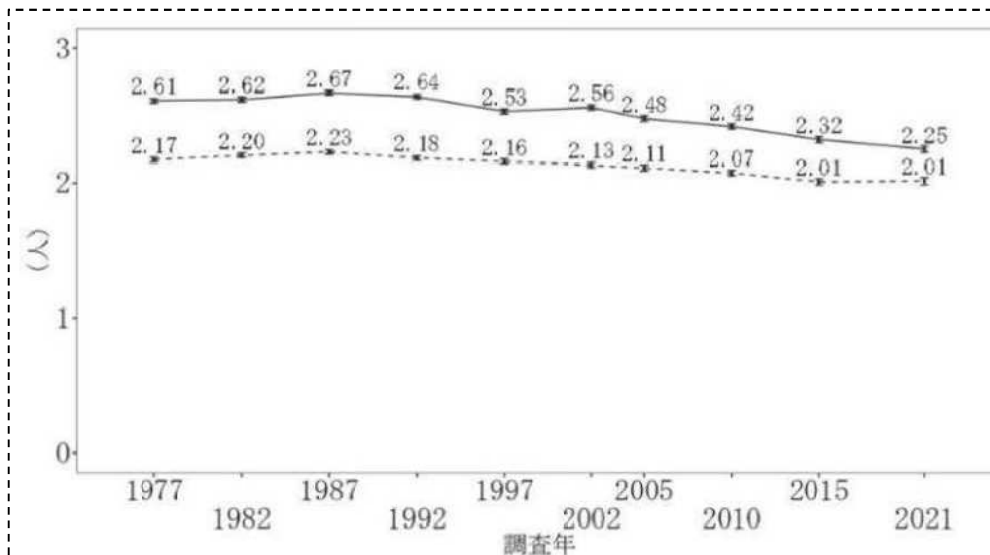


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産—第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

夫婦の平均理想子ども数と平均予定子ども数

- 初婚どうしの50歳未満の妻の平均理想子ども数は2.21人(【全国】2.25人)、平均予定子ども数は1.95人(【全国】2.01人)で、全国と同様の傾向であった。
- 理想と予定の子ども数の差は0.26人(【全国】0.24人)だった。
- 全国の経年変化は、2002年調査以降、平均理想子ども数が減少し続けている。

初婚どうしの夫婦	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
平均理想子ども数	2.21人	2.25人
平均予定子ども数	1.95人	2.01人



— 平均理想子ども数 -- 平均予定子ども数

注：対象は妻の年齢50歳未満の初婚どうしの夫婦。予定子ども数は現存子ども数と追加予定子ども数の和。理想・予定子ども数不詳を除き、8人以上を8人として平均値を算出。図中のマーカー上のエラーバーは95%信頼区間を示している。なお、未婚女性の希望子ども数との比較の観点から、妻の年齢を35歳未満に限定すると、平均理想子ども数は第7回(1977)2.52、第8回(1982)2.59、第9回(1987)2.61、第10回(1992)2.54、第11回(1997)2.43、第12回(2002)2.43、第13回(2005)2.40、第14回(2010)2.41、第15回(2015)2.43、第16回(2021)2.29、平均予定子ども数は、第7回(1977)2.18、第8回(1982)2.25、第9回(1987)2.31、第10回(1992)2.21、第11回(1997)2.18、第12回(2002)2.11、第13回(2005)2.15、第14回(2010)2.24、第15回(2015)2.28、第16回(2021)2.17である。設問 ①理想子ども数：「あなた方ご夫婦にとって理想的な子どもの数は何人ですか。」(0. 子どもはいらない、1. 1人、2. 2人、3. 3人、4. 4人、5. 5人以上()人)。②予定子ども数：「そうしますと、あなた方ご夫婦は全部で何人のお子さんを持つおつもりですか。」(0. 子どもは持たない、1. 1人、2. 2人、3. 3人、4. 4人、5. 5人以上()人)。

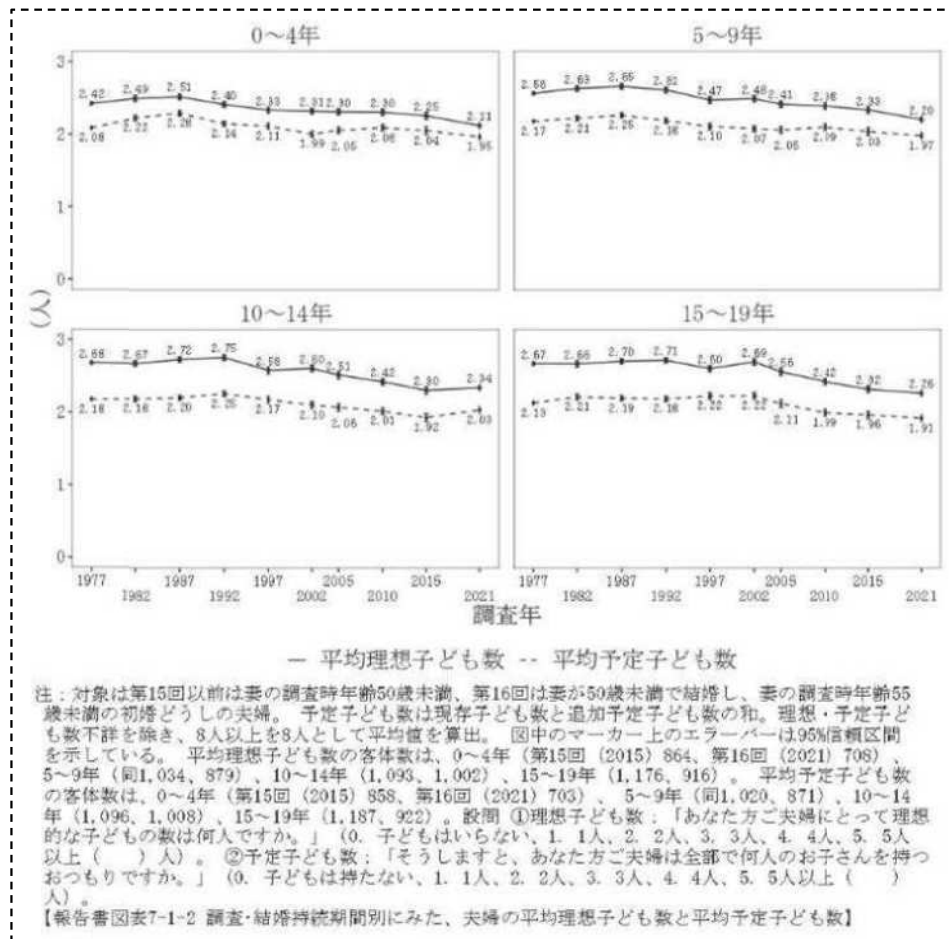
【報告書図表7-1-1 調査別にみた、夫婦の平均理想子ども数と平均予定子ども数】

出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産—第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

夫婦の平均理想子ども数と平均予定子ども数(結婚持続期間別)

- 初婚どうしの50歳未満の妻の結婚からの経過年(結婚持続期間)別に理想と予定の平均子ども数を見ると、15～19年の予定数を除き、どの期間でも理想および予定数が全国を下回る。
- 静岡市における理想と現実の差が大きい期間は、「10～14年」0.27人(【全国】0.31人)だった。
- 全国の経年変化は、「0～4年」「5～9年」が理想・予定子ども数ともに小幅に減少し、2021調査の予定子ども数は2人を下回った。

結婚持続期間	子ども数	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
0～4年	理想	2.00人	2.11人
	予定	1.82人	1.95人
5～9年	理想	2.12人	2.20人
	予定	1.91人	1.97人
10～14年	理想	2.26人	2.34人
	予定	1.99人	2.03人
15～19年	理想	2.21人	2.26人
	予定	1.97人	1.91人

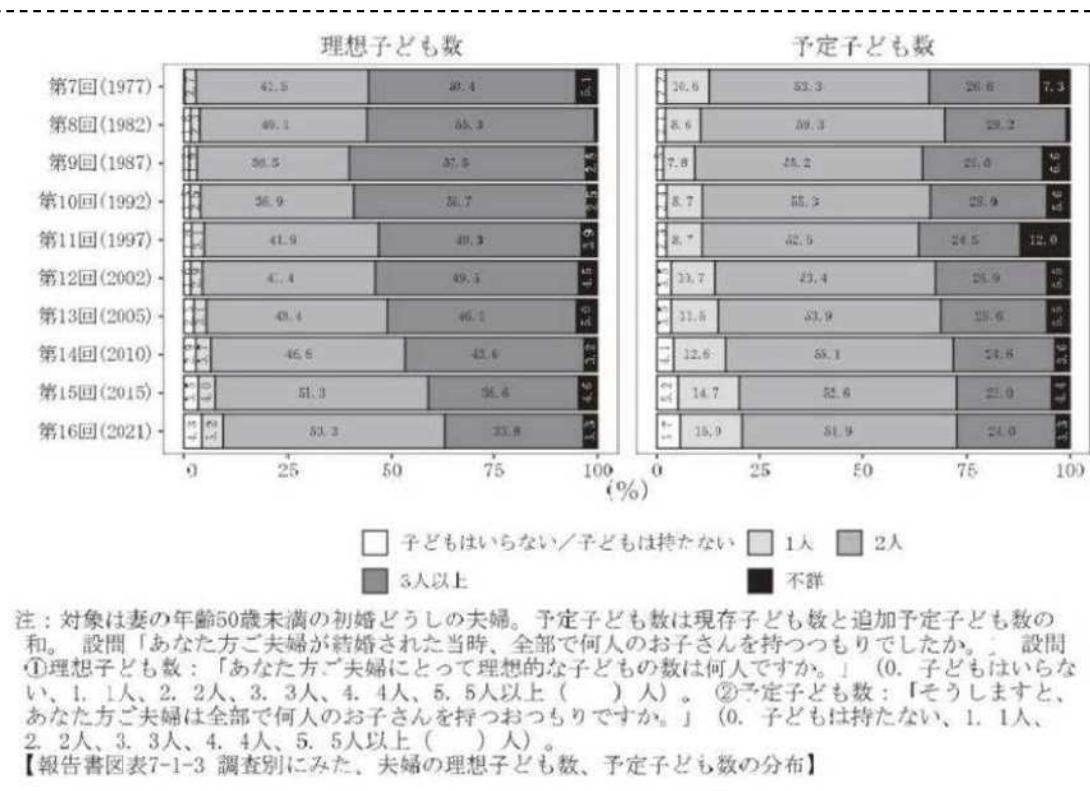


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産―第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

夫婦の理想子ども数と予定子ども数の分布

- 初婚どうしの50歳未満の妻の理想子ども数の分布をみると、「2人」および「3人以上」の合計で89.6%（【全国】87.1%）で、約9割を占める。
- 予定子ども数をみると、「2人」と「3人以上」の合計が77.0%（【全国】75.9%）で、理想子ども数とは12.6ポイント（【全国】11.2ポイント）の差がある。
- 全国の経年変化は、理想子ども数「3人以上」が年々減少する一方で、「2人」が増加し、「0人」「1人」も微増するなど、全体的に少ない子ども数を理想とする割合が増えている。

	子ども数	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
理想	子どもはいらない	3.7%	4.3%
	1人	6.6%	5.2%
	2人	58.5%	53.3%
	3人以上	31.1%	33.8%
予定	子どもはいらない	6.0%	5.7%
	1人	17.0%	15.0%
	2人	56.9%	51.9%
	3人以上	20.1%	24.0%

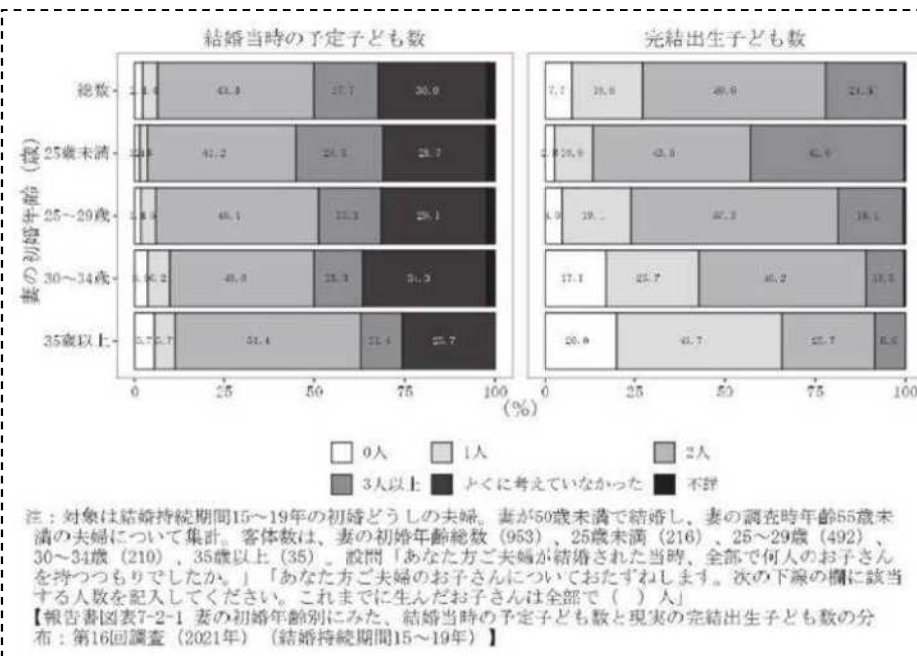


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産―第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

結婚当時の予定子ども数と現実の完結出生子ども数の分布

- 結婚持続期間15～19年の初婚どうしの夫婦が、結婚した当時に何人くらいの子どもの持つつもりだったかをたずねると、25～29歳における「子どもはいらない」の結婚当時の予定子ども数の合計が9.6%（【全国】1.4%）に対し、完結出生子ども数が11.5%（【全国】4.9%）で、どちらも静岡市は全国よりも上回る。

妻の 初婚年齢	子ども数	結婚当時の予定子ども数		完結出生子ども数	
		静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
25歳未満	子どもはいらない	4.0%	1.2%	0.0%	2.8%
	1人	4.0%	4.3%	8.0%	10.6%
	2人	48.0%	41.2%	56.0%	43.5%
	3人以上	44.0%	24.1%	36.0%	42.6%
25～29歳	子どもはいらない	9.6%	1.4%	11.5%	4.9%
	1人	1.9%	6.5%	9.6%	19.1%
	2人	50.0%	45.1%	53.8%	57.3%
	3人以上	38.5%	17.3%	25.0%	18.1%
30～34歳	子どもはいらない	5.0%	3.8%	10.0%	17.1%
	1人	5.0%	6.2%	25.0%	25.7%
	2人	60.0%	40.0%	55.0%	46.2%
	3人以上	30.0%	13.3%	10.0%	10.5%
35歳以上	子どもはいらない	0.0%	5.7%	16.7%	20.0%
	1人	16.7%	5.7%	0.0%	45.7%
	2人	83.3%	51.4%	83.3%	25.7%
	3人以上	0.0%	11.4%	0.0%	8.6%

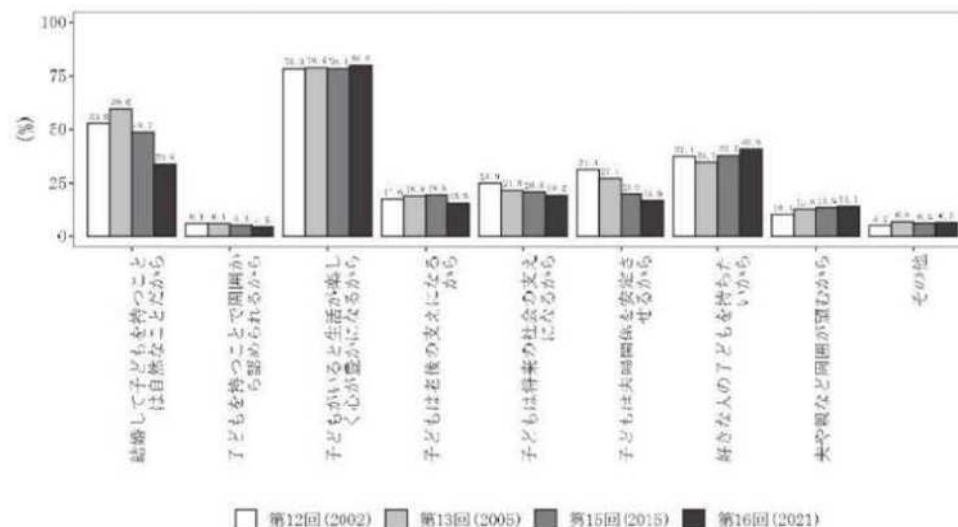


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産―第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

子どもを持つ理由

- 理想とする子供の数が1人以上であった夫婦の子どもを持つ理由で、静岡市と全国との差が最も大きかった選択率は、「子どもは夫婦関係を安定させるから」9.4%（【全国】16.9%）だった。
- 各調査で一貫して最も選択されているのは「子どもがいると生活が楽しく心が豊かになるから」である。「結婚して子どもを持つことは自然なことだから」「子どもは夫婦関係を安定させるから」といった考え方については、近年ほど選択率が下がっている。

子どもを持つ理由	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
結婚して子どもを持つことは自然なことだから	31.1%	33.8%
子どもを持つことで周囲に認められるから	3.9%	4.5%
子どもがいると生活が楽しく心が豊かになるから	75.6%	80.0%
子どもは老後の支えになるから	8.9%	15.5%
子どもは将来の社会の支えになるから	15.8%	19.2%
子どもは夫婦関係を安定させるから	9.4%	16.9%
好きな人の子どもを持ちたいから	35.0%	40.9%
夫や親など周囲が望むから	11.4%	14.1%



注：対象は理想子ども数1人以上で、妻の調査時年齢50歳未満の初婚どうしの夫婦。不詳を含まない選択率。複数回答のため合計は100%を超える。客体数は、第12回(6,455)、第13回(5,188)、第15回(4,647)、第16回(3,843)。設問「理想的な子どもの数を1人以上とお考えになる理由は何ですか。下の理由のうちから、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。」

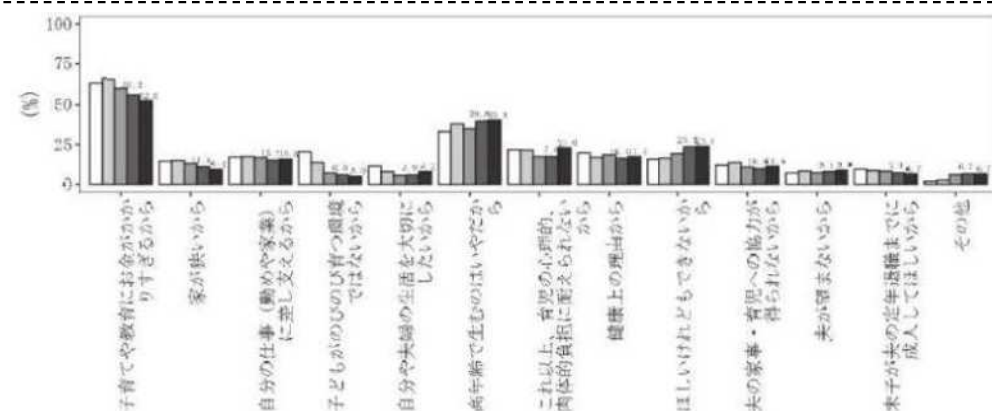
【報告書図表7-3-1 調査別にみた、夫婦の子どもを持つ理由】

出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産—第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

夫婦が理想の数の子どもを持たない理由

- 理想の数の子どもを実際に持たない理由として最も選択率が高いのは「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」という経済的理由で、選択率は66.0%（【全国】52.6%）であり、全国においても選択率が最も高かった。
- 次いで、「自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから」31.2%（【全国】15.8%）であったが、全国は「高年齢で生むのはいやだから」が2番目になる。

理想の数の子どもを持たない理由	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
子育てや教育にお金がかかりすぎるから	66.0%	52.6%
自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	31.2%	15.8%
これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	30.9%	23.0%
高年齢で生むのはいやだから	29.8%	40.4%
ほしいけれどもできないから	24.8%	23.9%
家が狭いから	17.0%	9.4%
健康上の理由から	17.0%	17.4%
子どもがのびのび育つ環境ではないから	14.5%	5.0%
夫の家事・育児への協力が得られないから	14.2%	11.5%
自分や夫婦の生活を大切にしたいから	8.5%	8.2%
末子が夫の定年退職までに成人してほしいから	8.5%	6.7%
夫が望まないから	7.1%	8.9%



□ 第12回(2002) ■ 第13回(2005) ■ 第14回(2010) ■ 第15回(2015) ■ 第16回(2021)

注：対象は予定子ども数が理想子ども数を下回る、妻の調査時年齢50歳未満の初婚どうしの夫婦。不詳を含まない選択率。複数回答のため合計値は100%を超える。客体数は、第12回(2,134)、第13回(1,831)、第14回(1,835)、第15回(1,253)、第16回(854)。予定子ども数が理想子ども数を下回る初婚どうしの夫婦の割合は、第12回(37.3%)、第13回(35.3%)、第14回(32.8%)、第15回(30.2%)、第16回(24.5%)。設問：「持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数よりも少ないのはどうしてですか。下の理由のうちから、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。」

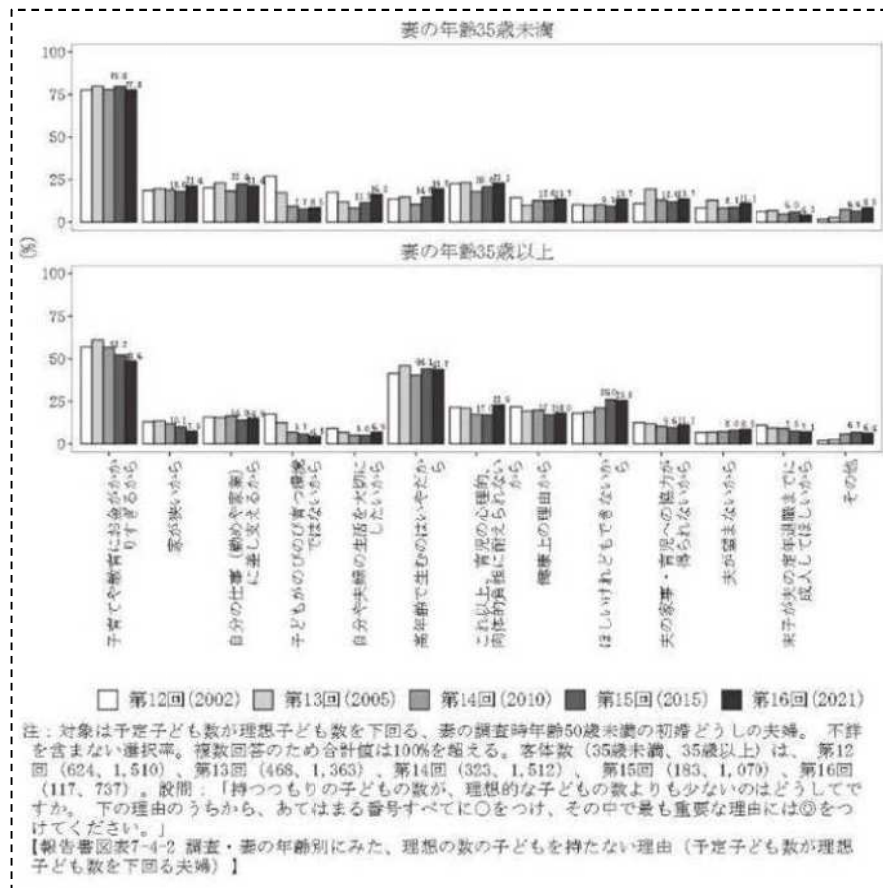
【報告書図表7-4-1 調査別にみた、理想の数の子どもを持たない理由(予定子ども数が理想子ども数を下回る夫婦)】

出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産—第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

夫婦が理想の数の子どもを持たない理由(妻の年齢別)

- 理想の数の子どもを実際に持たない理由を妻の年齢別にみると、35歳未満では「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」67.3% (【全国】77.8%)という経済的理由で全国と同様、最も選択率が高かったが、35歳以上では、「ほしいけれどもできないから」54.5% (【全国】25.5%)、「健康上の理由から」31.8% (【全国】11.8%)といった身体的な理由が高くなり、全国とも大きく差異がみられる。

理想の数の子どもを持たない理由	35歳未満		35歳以上	
	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
子育てや教育にお金がかかりすぎるから	67.3%	77.8%	54.5%	48.6%
自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	32.7%	21.4%	18.2%	14.9%
これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	31.2%	23.1%	31.8%	22.9%
高年齢で生むのはいやだから	30.0%	19.7%	31.8%	43.7%
ほしいけれどもできないから	22.7%	13.7%	54.5%	25.5%
家が狭いから	17.3%	21.4%	18.2%	7.5%
健康上の理由から	16.2%	13.7%	31.8%	18.0%
子どもがのびのび育つ環境ではないから	15.4%	8.5%	9.1%	4.5%
夫の家事・育児への協力が得られないから	15.0%	13.7%	9.1%	11.1%
自分や夫婦の生活を大切にしたいから	9.6%	16.2%	0.0%	6.9%
末子が夫の定年退職までに成人してほしいから	8.8%	4.3%	9.1%	7.1%
夫が望まないから	8.1%	11.1%	0.0%	8.5%

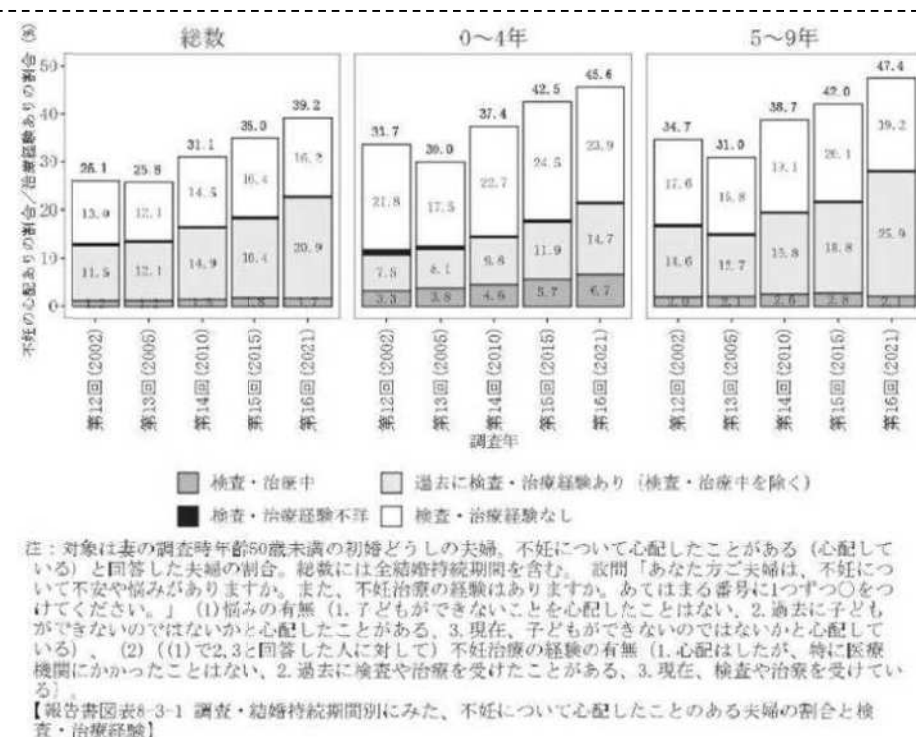


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産―第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

不妊についての心配と検査・治療経験

- 不妊について心配したことがある夫婦で、30.5%（【全国】22.6%）の夫婦が、実際に不妊の検査または治療経験がある（「検査・治療中」と「過去に検査・治療経験あり」）と回答している。
- 結婚持続期間別にみると、5～9年では、8.3%（【全国】2.1%）の夫婦が、不妊に関する検査や治療を現在受けていると回答している。
- 全国の経年変化は、2005年調査以降、不妊に関する検査や治療を現在受けている割合は年々増加している。

結婚 持続期間	検査・治療経験	静岡市 (2024年度)	全国 (2021年度)
総数	現在、検査や治療を受けている	2.6%	1.7%
	過去に検査や治療を受けたことがある	27.9%	20.9%
	心配はしたが、特に医療機関にかかったことはない	19.1%	16.2%
0～4年	現在、検査や治療を受けている	6.3%	6.7%
	過去に検査や治療を受けたことがある	16.7%	14.7%
	心配はしたが、特に医療機関にかかったことはない	34.4%	23.9%
5～9年	現在、検査や治療を受けている	8.3%	2.1%
	過去に検査や治療を受けたことがある	52.1%	25.9%
	心配はしたが、特に医療機関にかかったことはない	20.8%	19.2%

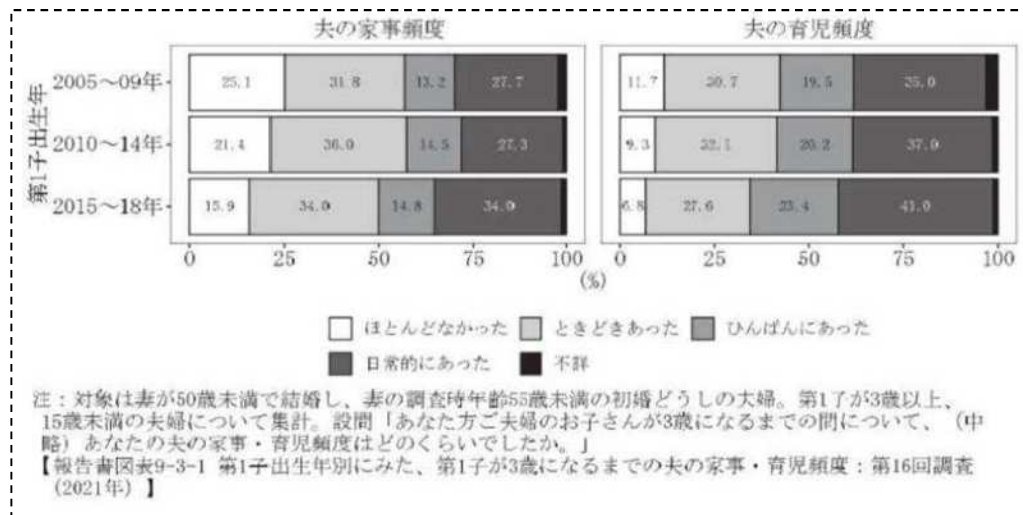


出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産―第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」

第1子が3歳になるまでの夫の家事・育児頻度

- 夫の家事・育児ともに、「日常的にあった」割合は、近年ほど増加する傾向にあり、2018～21年に第1子が生まれた夫婦では、家事が43.4%（【全国】34.0%）、育児が45.8%（【全国】41.0%）に増加した。
- また、家事・育児ともに、「ほとんどなかった」とする夫の割合は減少しており、2018～21年には、家事が10.8%（【全国】15.9%）、育児が3.6%（【全国】6.8%）と、育児においては1割を下回っている。

第1子が3歳になるまで		第1子 出生年	静岡市 (2024年度)	第1子 出生年	全国 (2021年度)
夫の 家事	ほとんどなかった	2008 ～12年	25.3%	2005 ～09年	25.1%
	ときどきあった		35.2%		31.8%
	ひんぱんにあった		13.2%		13.2%
	日常的にあった		26.4%		27.7%
	ほとんどなかった	2013 ～17年	18.1%	2010 ～14年	21.4%
	ときどきあった		37.2%		36.0%
	ひんぱんにあった		9.6%		14.5%
	日常的にあった		35.1%		27.3%
	ほとんどなかった	2018 ～21年	10.8%	2015 ～18年	15.9%
	ときどきあった		32.5%		34.0%
	ひんぱんにあった		13.3%		14.8%
	日常的にあった		43.4%		34.0%
夫の 育児	ほとんどなかった	2008 ～12年	13.2%	2005 ～09年	11.7%
	ときどきあった		30.8%		30.7%
	ひんぱんにあった		18.7%		19.5%
	日常的にあった		37.4%		35.0%
	ほとんどなかった	2013 ～17年	7.4%	2010 ～14年	9.3%
	ときどきあった		38.3%		32.1%
	ひんぱんにあった		12.8%		20.2%
	日常的にあった		41.5%		37.0%
	ほとんどなかった	2018 ～21年	3.6%	2015 ～18年	6.8%
	ときどきあった		30.1%		27.6%
	ひんぱんにあった		20.5%		23.4%
	日常的にあった		45.8%		41.0%



出典：国立社会保障・人口問題研究所
「現代日本の結婚と出産—第16回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書」